シアタープロジェクター

形名 XV-Z17000（エックスブイ ゼット）

取扱説明書

このたびはシャープシアタープロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。・・・・・・**6** ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

もくじ

まず

はじめに

基本的な使いかた

設置する

接続する

さあ

使ってみる

便利な機能

こんなときは・・・

付録

この取扱説明書の見かた

■画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なります。

お知らせ ....特に気をつけていただきたい内容について説明しています。

メモ ....操作や設定時の制限事項や注意する内容について説明しています。

こんなときは

お手入れするときは ➡ 63ページ

故障かな？と思ったら ➡ 76～78ページ

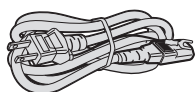
索引 ➡ 85ページ

付属品について

付属品

リモコン

単 3 形乾電池（2 本）

3D メガネ（2 個）*

電源コード（1.8m）
（この電源コードは本機専用品です）

• 取扱説明書（本書）
• 保証書（箱に貼り付け）

* 3D メガネおよびその付属品については **55** ～ **57** ページをご覧ください。

別売品

■ ランプユニット	AN-K15LP
■ 天吊り用取付アダプター	AN-60KT
■ 天井用取付ユニット	AN-TK201（高天井用） AN-TK202（低天井用）
■ 3RCA（コンポーネント）/ミニD−sub15ピン変換ケーブル（3.0 m） •コンピュータと接続する場合はコンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できないことがありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。変換コネクター（市販品）が必要な場合があります。	AN-C3CP2
■ 3Dメガネ	AN-3DG10-S AN-3DG10-R AN-3DG10-A

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がケガをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

⚠警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

● 異常状態のまま使用すると、火災·感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

電源プラグを抜く

● 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災·感電の原因となります。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない

分解禁止

● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検·調整·修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が多くあり、さわると危険です。

分解禁止

● この機器を改造しないでください。火災·感電の原因となります。

⚠警告

表示された電源電圧で使用する

指定された電源電圧で使用する

● 表示された電源電圧(交流100～240ボルト)以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは

電源プラグを抜く

● この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない

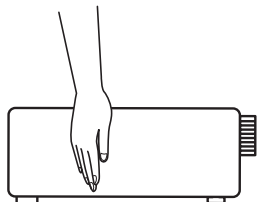
禁止

● 投映中にレンズをのぞかないでください。
眼を傷める原因となります。
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

高温部には触れない

禁止

高温注意

● 投映中は、排気孔、ランプユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。

不安定な場所に置かない

禁止

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは

販売店に依頼する

● この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。
取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

内部にものや水などを入れない

禁止

● この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグを抜く

● 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない

水ぬれ禁止

● こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

接触禁止

● 感電の原因となります。

つづく

安全に正しくお使いいただくために（つづき）

⚠警告

電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着した状態では使用しない

ほこりを取る

● ホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

● 火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない

禁止

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。

禁止

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

交換を依頼する

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

油煙、湯気、湿気、ホコリなどが多い場所に置かない

禁止

● 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

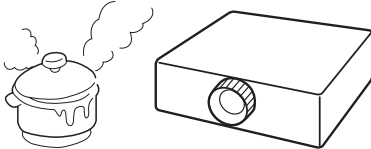
● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

● この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから30cm以上はなして設置してください。

禁止

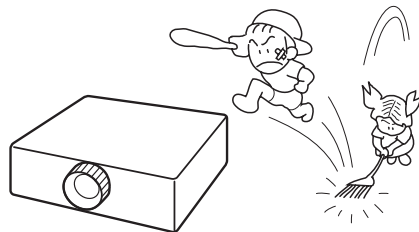
● 次のような使い方はしないでください。
この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

重いものを置かない

禁止

● この機器の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

禁止

● この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。

置台に据えつけるときは

転倒防止

● キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

⚠注意

設置場所を変える場合は必ず接続線をはずす

接続線をはずす

●設置場所を変える場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

禁止

●コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

禁止

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

●安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

水ぬれ禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

●安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

確実に差し込む

●差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

禁止

●電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する

注意

●内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。

つづく

安全に正しくお使いいただくために（つづき）

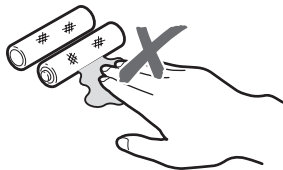
電池についての安全上のご注意

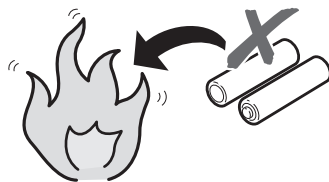
液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

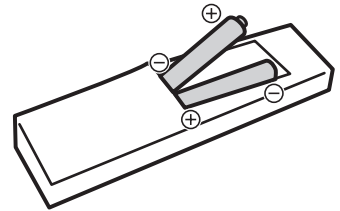
⚠注意

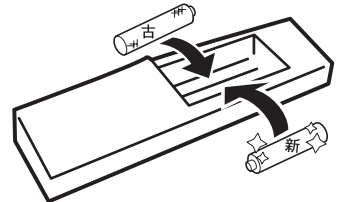
電池は幼児の手の届く所に置かない

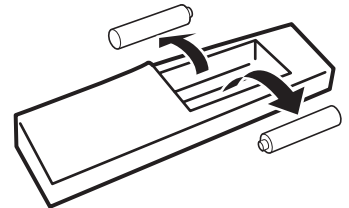
●電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液が漏れたときは素手でさわらない

●電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
●皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない 乾電池は充電しない

●電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

●間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない 新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

●電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

●電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

3Dメガネについての安全上のご注意

⚠警告

■誤飲防止について
電池や付属のノーズパッドは、お子様の手の届く場所に置かない

- 電池を交換するときは、お子様を近づけないでください。誤って飲み込む恐れがあります。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■分解禁止について
3Dメガネを分解したり、改造しない

- 火災や視聴時の異常による体調不良の原因となります。

■コイン型リチウム電池の取り扱いについて
電池を火の中に入れたり、加熱したりしない

- 破裂して事故の原因となります。

電池を交換するときは、日立マクセル製コイン型リチウム電池(CR2032)を使用する

- 指定以外の電池をご使用になった場合には、電池の破裂、液もれによる火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

- 電池を入れたままにしておくと、電池を漏液させる恐れがあります。この液が目に入ったときは、失明など障害の恐れがありますので、こすらずに多量の水道水などのきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠注意

■3Dメガネについて
3Dメガネに物を落としたり、力を加えたり、踏んだり、落としたりしない

- ガラス部分などが破損してけがの原因となることがあります。
- メガネのレンズが割れた際は、目や口に破片が入らないようにしてください。

3Dメガネを装着時は、フレームの先端に注意する

- 目をついてけがの原因となることがあります。

3Dメガネのヒンジ部に指をはさまないようにする

- けがの原因となることがあります。
- 特にお子様にご注意ください。

つづく

安全に正しくお使いいただくために（つづき）

⚠注意

■コイン型リチウム電池の取り扱いについて
極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れない

● 間違えると電池の破損、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。挿入指示通り正しく入れてください。（**56**ページ）

■3D映像の視聴について
3D映像の見え方には個人差があります。光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人、酒気帯びの人は3Dメガネを使用しない

● 病状悪化の原因となることがあります。

体調がすぐれないときは、3Dの視聴は控える
3Dメガネで視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止する

● そのまま視聴すると体調不良の原因となることがあります。適度な休憩をとってください。
● 休憩をとっても疲労感、不快感が取れない場合は、使用を中止してください。

3D映像（映画、ゲーム、パソコン等）をご覧になる場合は、1時間程度を目安に適度に休憩をとる

● 長時間の視聴による目の疲れの原因となることがあります。
● 休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。

指定以外の電池を使用しない

● 間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

廃棄のしかた

● ⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

3Dメガネを使用しているときに誤ってテレビ画面や人をたたかない

● 3D映像のため、画面との距離を誤り、画面をたたきけがの原因となることがあります。

3Dの映像を見るときは3Dメガネを使用する
3Dメガネは、両目を水平に近い状態で視聴する
近視や遠視の方、左右の視力が異なる方や乱視の方は、視力矯正メガネの装着などにより、視力を適切に矯正したうえで3Dメガネを使用する
3Dメガネを装着中も映像が2重に見える状態が続くとき、立体感が感じにくいときは使用を中止する

● 長時間の使用による目の疲れの原因となることがあります。

画面の有効高さの3倍程度の視距離で見る

推奨距離
100インチ、16:9画像:約3.8m

● 推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因となることがあります。

⚠注意

■3Dメガネの使用について
3Dメガネやレンズは精密部品です 取り扱いには十分ご注意ください
3Dメガネでの視聴年齢については、5～6歳以上を目安にする お子様が3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴する

- お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。
  お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3Dメガネを使用するときは周囲に壊れやすいものを置かない

- 3D映像を実際のものに間違えて身体を動かし、周囲のものを破損してけがの原因となることがあります。

3Dメガネをかけたまま移動しない

- 周りが暗くなり、転倒などによるけがの原因となることがあります。

3Dメガネは、指定の用途以外には使用しない
3Dメガネを割れた状態で使用しない

- けがや目の疲れの原因となることがあります。

3Dメガネに異常・故障があったときは直ちに使用を中止する

- そのまま使用するとけがや目の疲れ、体調不良の原因となることがあります。

肌に異常を感じたら3Dメガネの使用を中止する

- ごくまれに塗料や材質でアレルギーの原因となることがあります。

鼻やこめかみが赤くなったり、痛み、かゆみを感じたら3Dメガネの使用を中止する

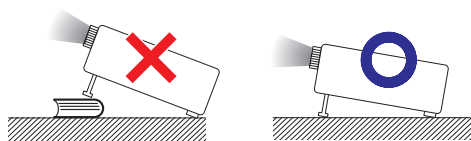
- 長時間の使用による圧力により発生することがあり、体調不良の原因となることがあります。

使用上のご注意

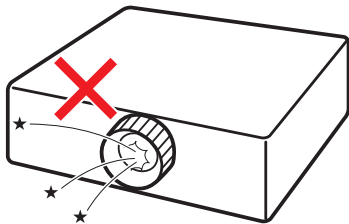
設置するときは次の点にご注意ください

湿気、ホコリの少ないところへ
■ 湿気やホコリの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。また、故障の原因となる場合があります。

直射日光や、照明の光はさけてください
■ スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。（できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。）

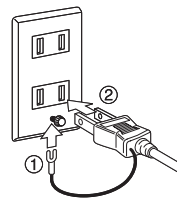
本機を設置するときは
■ プロジェクターは9°以上傾けないようにしてください。設置範囲は9°までです。

■ プロジェクターをお買いあげ後、最初に電源を入れたとき、排気孔からわずかに匂いがする場合がありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともないなくなります。

山岳など高地（標高約1500m）以上でご使用になるとき
■ 空気の希薄な高地などでご使用になるときは、ファンモードを「高」に設定してください。「標準」のまま使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

衝撃を与えないでください
■ レンズには、特にご注意いただき表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。

高温、低温の場所はさけてください
■ 使用温度範囲　5℃～35℃
■ 保管温度範囲　－20℃～60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように
■ 排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上の隙間をあけて設置してください。
■ 本体の排気孔付近で空気の滞留が起こらないように設置してください。また、排気孔から出る熱が吸気孔付近に回り込むことを避けるために、吸気孔と周囲の壁やモノとの間には30cm以上の隙間を確保するようにしてください。
■ 冷却ファンがふさがれると、内部温度上昇のため保護回路が働き自動的に待機状態になる場合があります。このようなときはプロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがない場所に設置してもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。

取り扱い時のご注意
■ 取り扱うときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、長時間使用しない、または収納する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上行ってください。
■ 取り扱うときは、レンズやレンズカバー部を持たないでください。
■ 使用しないときや、収納するときは、レンズシャッターを閉めてください。
■ 直射日光の当たる場所や、熱器具などの近くに放置しないでください。キャビネットの変形・変色の原因になります。

電源コードの接続について
■ 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
■ アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

接続機器について

■ プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
■ 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

使用時のご注意

目をときどき休めてください

■ 連続して長い時間画面を見ていると目が疲れますので、ときどき目を休めてください。

ランプ交換に関しての注意

■ 「ランプについて」(**66**ページ)もご覧ください。
■ 廃棄の方法について
このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HIDランプ)は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプユニットに関しての注意

■ ランプが破裂するとガラス破片でけがをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

国外では使用できません

■ この製品が使用できるのは日本国内だけです。

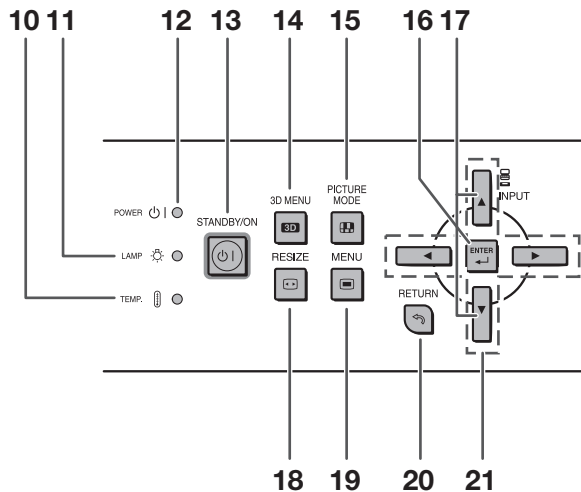
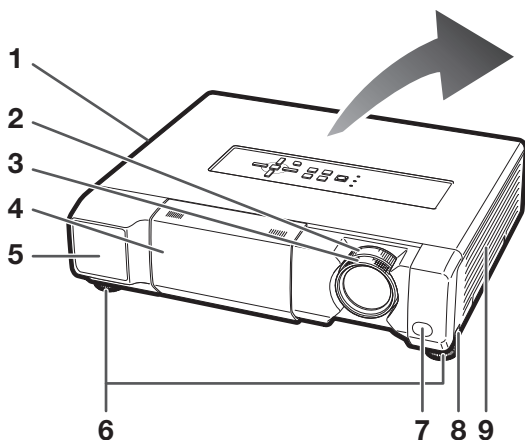
3Dメガネのお手入れのしかた

■ お手入れの際は、付属のメガネ拭き用クロスをご使用ください。クロスにホコリなどが付着していると、製品に傷がつきます。ご使用前にホコリなどをはらってください。なお、ベンジンやシンナーなどは、塗装がはがれる原因になりますので、使用しないでください。
■ お手入れの際に、3D メガネを水などの液体につけないでください。
■ 保管の際は、湿度の高いところや、温度が高くなるところを避けてください。

・この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

各部のなまえとはたらき

中の数字は参照ページを示します。

本体

前面

1 排気孔 63

2 ズームリング 21, 30
投映画像を拡大 / 縮小（ズーム）します。

3 フォーカスリング 21, 30
投映画像のピント（フォーカス）合わせをします。

4 レンズシャッター 29, 34, 67

5 赤外線発信部 57
3D 映像を投映中に赤外線信号を送信します。

6 アジャスター 21, 30

7 リモコン受信部 19

8 高さ調整レバー 30

9 吸気孔 63

操作部（上面）

10 温度モニター表示 64

11 ランプ表示 29, 64

12 電源表示 29, 64

13 STANDBY/ON（スタンバイ / 電源入）ボタン 20, 29
電源を入れたり、待機状態にしたりします。

14 3D MENU（3D メニュー）ボタン 58
3D メニュー画面を表示します。

15 PICTURE MODE（映像モード）ボタン 34
映像に合わせて映像モードを切り換えます。

16 ENTER（決定）ボタン 41
メニューで選択・調整した項目を決定します。

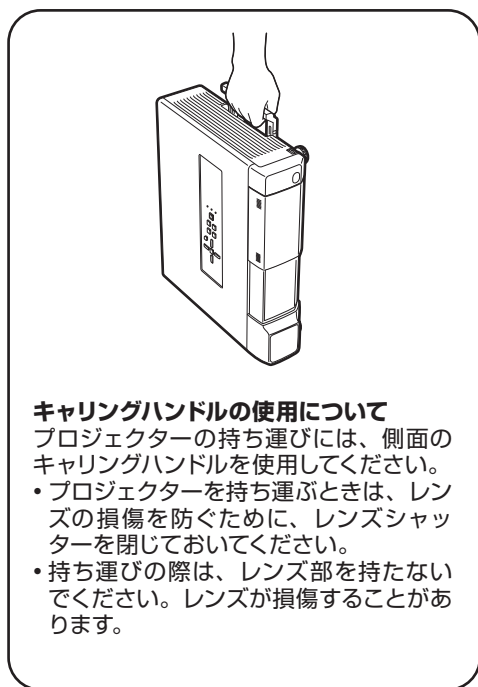
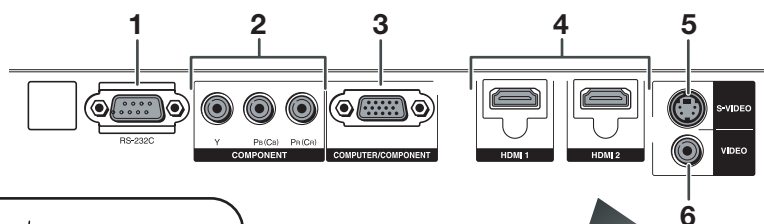
17 INPUT（入力切換）ボタン（▲/▼） 33
入力モードを切り換えます。

18 RESIZE（画面サイズ切換）ボタン 36
映像に合わせて、画面サイズを切り換えます。

19 MENU（メニュー）ボタン 41
各種設定・調整用の画面を表示します。

20 RETURN（戻す）ボタン 41
メニュー操作中、1つ前の操作の状態に戻ります。

21 カーソルボタン（▲/▼/◀/▶） 41
メニュー項目の選択に使用します。

本体背面

キャリングハンドルの使用について
プロジェクターの持ち運びには、側面のキャリングハンドルを使用してください。
- プロジェクターを持ち運ぶときは、レンズの損傷を防ぐために、レンズシャッターを閉じておいてください。
- 持ち運びの際は、レンズ部を持たないでください。レンズが損傷することがあります。

背面端子

1 RS-232C 端子 28
コンピュータを使ってプロジェクターを制御します。

2 COMPONENT 端子 25
色差（コンポーネント）入力端子

3 COMPUTER/COMPONENT 入力端子 25, 27
RGB/ 色差（コンポーネント）入力端子

4 HDMI1、2 端子 25, 26
HDMI 入力端子

5 S-VIDEO 入力端子 25, 26
S 映像入力端子

6 VIDEO 入力端子 25
映像入力端子

7 キャリングハンドル
プロジェクターを持ち運ぶときに使用します。

8 リモコン受信部 19

9 AC 電源ソケット 29
付属の電源コードを接続します。

10 ケンジントンセキュリティースロット

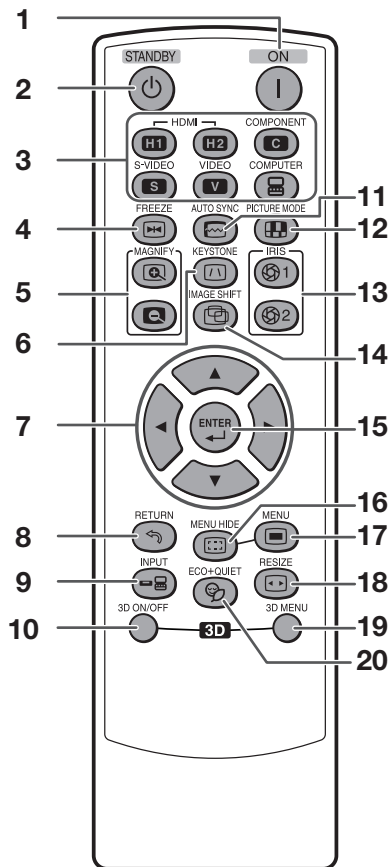
11 セキュリティーバー

ケンジントンセキュリティースロットについて
- このケンジントンセキュリティースロットは、Kensington 社製セキュリティーケーブルに対応しております。接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ケンジントンセキュリティースロットおよびセキュリティーケーブルは盗難を抑止するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。

つづく

各部のなまえとはたらき（つづき）

■中の数字は参照ページを示します。

リモコン

1 ON（電源入）ボタン **20, 29**
電源を入れます。

2 STANDBY（スタンバイ）ボタン **21, 29**
電源を待機状態にします。

3 HDMI1/2、COMPONENT（色差）、S-VIDEO（S 映像）、VIDEO（映像）、COMPUTER（コンピュータ）ボタン **21, 33**
入力モードを切り換えます。

4 FREEZE（静止画）ボタン **34**
映像を静止画の状態にします。

5 MAGNIFY（拡大 / 縮小）ボタン **35**
投映画像を部分拡大 / 縮小します。

6 KEYSTONE（キーストーン補正）ボタン **31**
投映角度により生じる台形歪みを補正するための画面を表示します。

7 カーソルボタン（▲/▼/◀/▶）**41**
メニュー項目の選択・調整に使用します。

8 RETURN（戻す）ボタン **41**
メニュー操作中、1つ前の操作の状態に戻ります。

9 INPUT（入力切換）ボタン **33**
入力モードを切り換えます。

10 3D ON/OFF（3D オン / オフ）ボタン **58, 59**
2D モードと 3D モードを切り換えます。

11 AUTO SYNC（自動同期調整）ボタン **34**
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

12 PICTURE MODE（映像モード）ボタン **34**
映像に合わせて映像モードを切り換えます。

13 IRIS 1、2（アイリス 1、2）ボタン **35**
「高輝度」モードと「高コントラスト」モードを切り換えます。

14 IMAGE SHIFT（画面シフト）ボタン **33**
映像を水平方向、垂直方向にシフトします。

15 ENTER（決定）ボタン **41**
メニューで選択・調整した項目を決定します。

16 MENU HIDE（メニュー非表示）ボタン **35**
メニュー画面を一時的に非表示にします。

17 MENU（メニュー）ボタン **41**
各種設定・調整用の画面を表示します。

18 RESIZE（画面サイズ切換）ボタン **36**
映像に合わせて、画面サイズを切り換えます。

19 3D MENU（3D メニュー）ボタン **58**
3D メニュー画面を表示します。

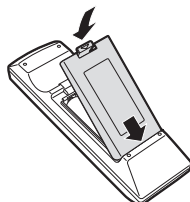
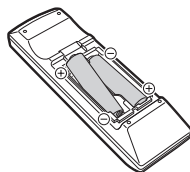
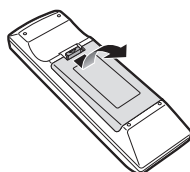
20 ECO+QUIET（エコ + 静音）ボタン **35**
冷却ファンの音が小さくなり、消費電力が減少し、ランプ寿命が長くなります。

リモコンの使いかた

乾電池の入れかた

1 **裏ぶたのつまみを押して、矢印の方向に開ける**

2 **付属の乾電池を入れ、裏ぶたを閉める**

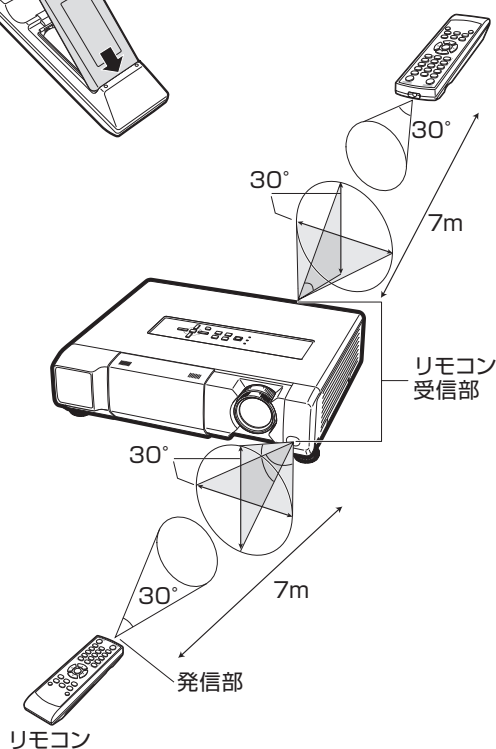
- プラス⊕とマイナス⊖は、表示のとおり正しく入れてください。
- 裏ぶたは、パチンと音がするまで確実に閉めてください。

リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は図のとおりです。

メモ

- リモコン受信部は、本体の前面と背面の両方に取り付けられています。
- リモコン信号をスクリーンに反射させて受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

リモコン使用上のご注意

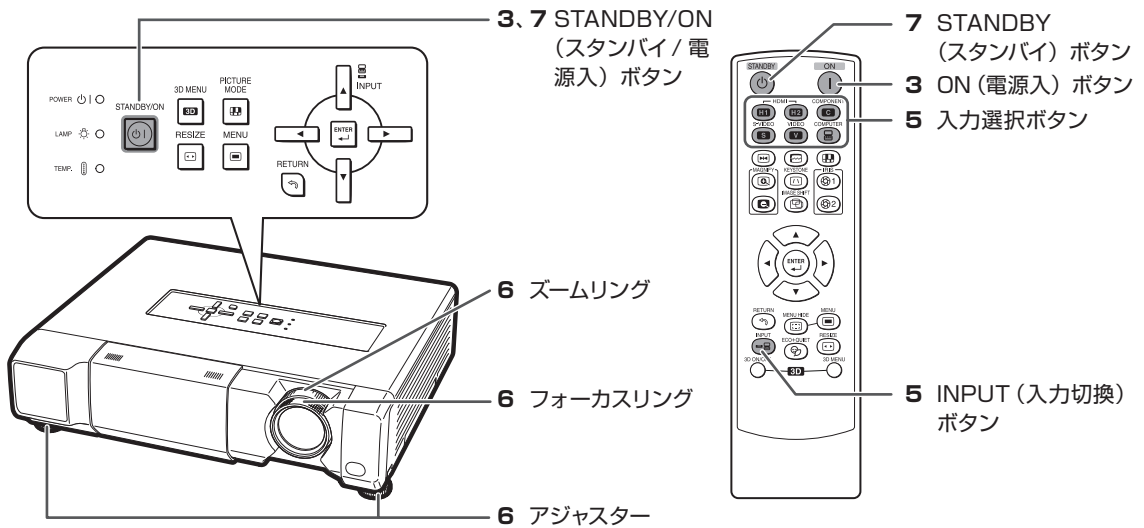
- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高い場所に置いたりしないでください。
- 蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。本体を蛍光灯から離してご使用ください。

乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

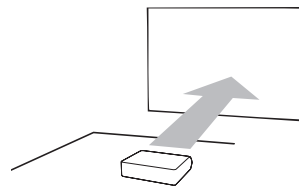
⚠ 注意

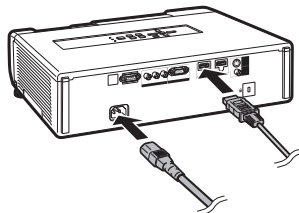
- 交換する乾電池を間違えると破裂する危険があります。
アルカリ乾電池・マンガン乾電池以外の電池のご使用はおやめください。
- 乾電池の⊕極と⊖極は、表示どおり正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときや乾電池を使い切ったときは、液がもれて故障の原因になる恐れもありますので、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布で拭き取るなど十分注意してください。

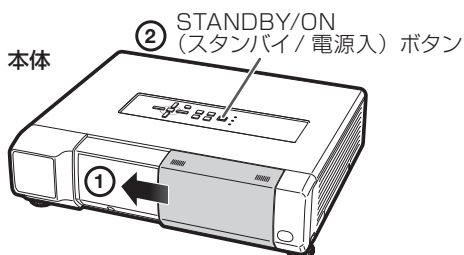
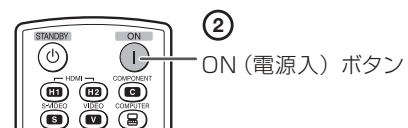
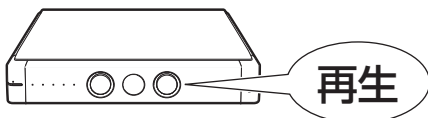
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。

基本的な使いかた

このページでは、接続から投映するまでの流れをビデオ機器との接続を例に、簡単に説明しています。詳しくは各項目に記載されているページをご覧ください。

1. 投映するスクリーンに向けて本機を置く

➡22ページ

2. 電源コードおよびビデオ機器を接続する

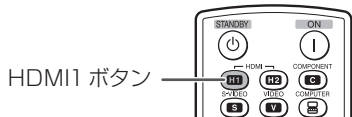
➡25〜29ページ

3. レンズシャッターを完全に開き、電源を入れる

➡29ページ

本体の **STANDBY/ON** またはリモコンの **ON** を押す。

4. ビデオ機器の電源を入れ、再生する

5. 入力を選ぶ

➡33ページ

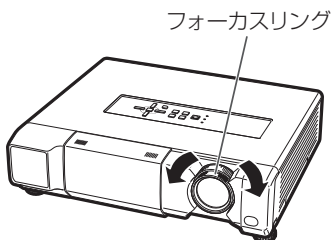
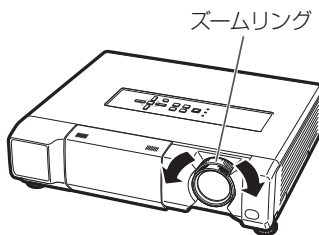
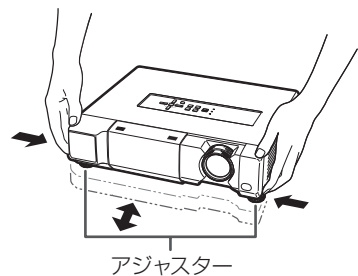
リモコンの **HDMI1** を押して「**HDMI1**」を選ぶ

HDMI1 ボタン

H1 HDMI1
YPbPr
1080P

- 他の入力に切り換えるときは、リモコンの **HDMI1**、**HDMI2**、**COMPONENT**、**S-VIDEO**、**VIDEO**、**COMPUTER** を押します。
- リモコンまたは本体の **INPUT** を押し、▲ または ▼ で必要な入力を選択してください。

6. ピント、サイズ、投映角度を調整する

➡30ページ

1. フォーカスリングをまわして、ピントを合わせる

2. ズームリングをまわして、投映映像の大きさを調整する

3. アジャスターで投映角度を調整する

- 映像が台形に歪んでいる場合は、キーストーン補正が必要です。（**31** ページ）

7. 電源を切るときは

➡29ページ

本体の **STANDBY/ON** またはリモコンの **STANDBY** を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

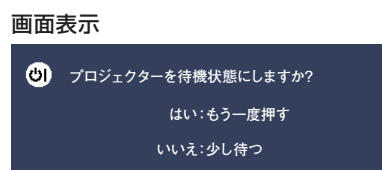
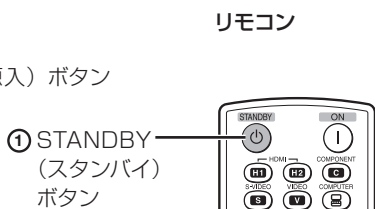
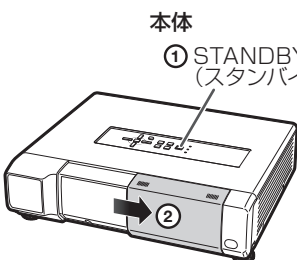
本体

① STANDBY/ON（スタンバイ / 電源入）ボタン

リモコン

① STANDBY（スタンバイ）ボタン

画面表示

プロジェクターを待機状態にしますか?
はい:もう一度押す
いいえ:少し待つ

本機を設置する

本機の設置のしかた

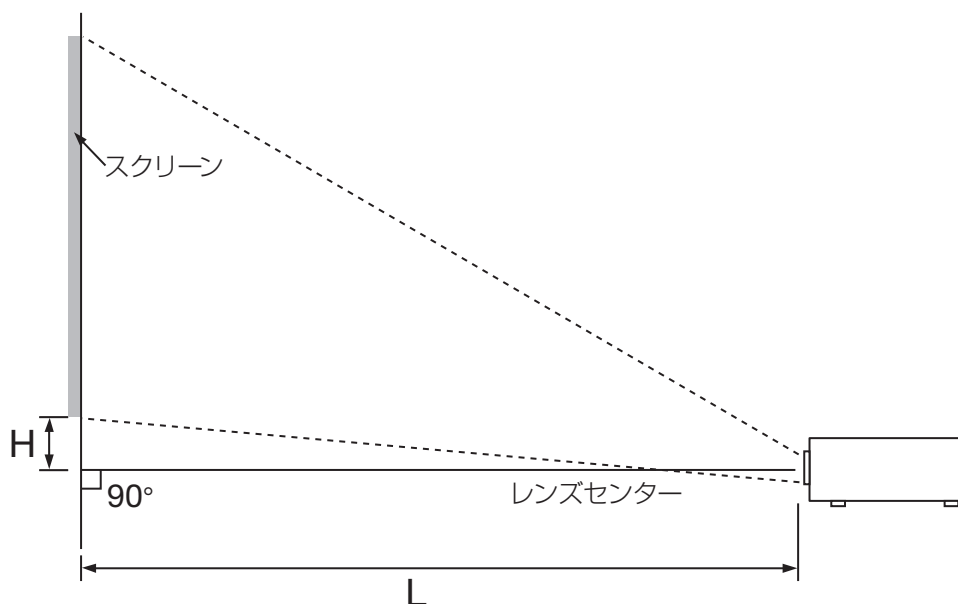
プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わないとき）、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で投映すると最良の映像が得られます。

メモ

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んでしまい、見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。

基本的な設置（前面からの投映）

■ 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。

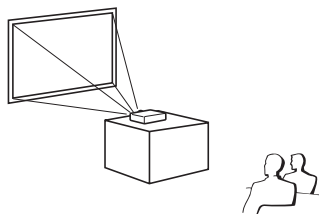
横から見たとき

H：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離
L： 投映距離

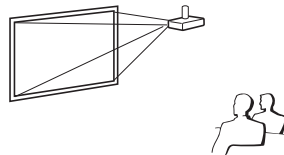
メモ

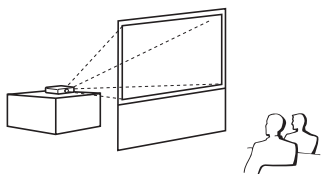
- 詳しくは、「画面サイズと投映距離」（**24**ページ）ご覧ください。

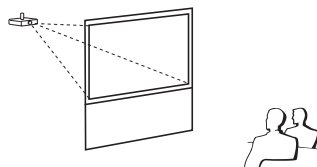
投映方式

本機では、下図の 4 通りの投映方式が可能です。設定場所に応じた投映方式を選択してください。(投映方式の設定は「表示設定」メニューの「投映方式」で行うことができます。(**51** ページ))

■ 床置き前方投映

メニュー項目→「フロント」

■ 天吊り前方投映

メニュー項目→「天吊り」

■ 床置き後方投映
(透過スクリーン使用)

メニュー項目→「リア」

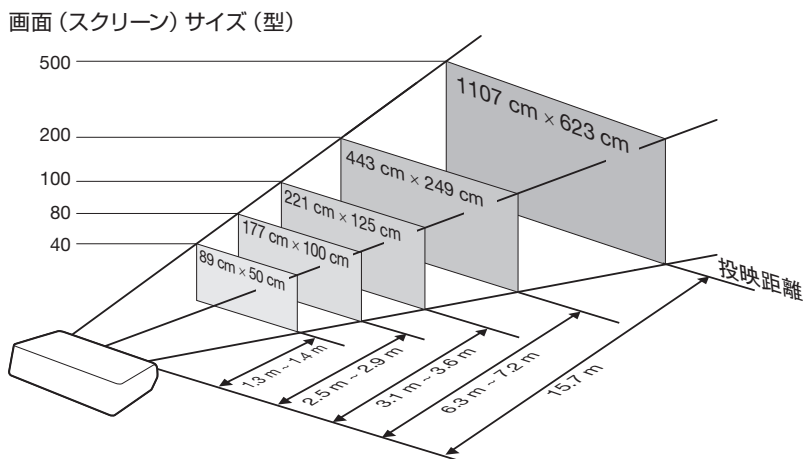
■ 天吊り後方投映
(透過スクリーン使用)

メニュー項目→「天吊り+リア」

天井に取り付ける場合は

■ 天井に取り付ける場合は、別売の取付ユニットおよび天吊り用取付アダプター「AN-60KT」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。別売の天吊り用取付アダプター「AN-60KT」の取り付けについては、同製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

投映画像の大きさと設置距離のめやす

詳しくは、「画面サイズと投映距離」(**24** ページ)をご覧ください。

例:16:9 ワイドスクリーン使用時

画面サイズと投映距離

16:9 ワイドスクリーン使用時：16:9 映像を 16:9 ワイドスクリーンに投映した場合

画面（スクリーン）サイズ			投映距離[L]		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離[H]
x：対角（型）	幅	高さ	最短［L1］	最長［L2］	
500	1, 107cm	623cm	15.7m	—	100cm
400	886cm	498cm	12.6m	14.5m	80cm
300	664cm	374cm	9.4m	10.9m	60cm
250	553cm	311cm	7.9m	9.1m	50cm
200	443cm	249cm	6.3m	7.2m	40cm
150	332cm	187cm	4.7m	5.4m	30cm
120	266cm	149cm	3.8m	4.3m	24cm
100	221cm	125cm	3.1m	3.6m	20cm
80	177cm	100cm	2.5m	2.9m	16cm
60	133cm	75cm	1.9m	2.2m	12cm
40	89cm	50cm	1.3m	1.4m	8cm

x　：画面（スクリーン）サイズ：40" - 500"
L　：投映距離（m）
L1：最短投映距離（m）
L2：最長投映距離（m）
H　：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（cm）

画面サイズと投映距離の近似式
[m/cm]
L1（m）　= 0.0314 x
L2（m）　= 0.0362 x
H　（cm）= 0.2 x

4:3 標準スクリーン使用時：4:3 映像を 4:3 標準スクリーンに投映した場合

画面（スクリーン）サイズ			投映距離[L]		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離[H]
x：対角（型）	幅	高さ	最短［L1］	最長［L2］	
400	813cm	610cm	15.4m	—	98cm
300	610cm	457cm	11.5m	13.3m	73cm
250	508cm	381cm	9.6m	11.1m	61cm
200	406cm	305cm	7.7m	8.9m	49cm
150	305cm	229cm	5.8m	6.6m	37cm
120	244cm	183cm	4.6m	5.3m	29cm
100	203cm	152cm	3.8m	4.4m	24cm
80	163cm	122cm	3.1m	3.5m	20cm
70	142cm	107cm	2.7m	3.1m	17cm
60	122cm	91cm	2.3m	2.7m	15cm
40	81cm	61cm	1.5m	1.8m	10cm

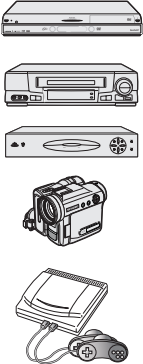
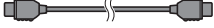
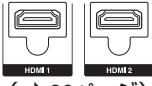
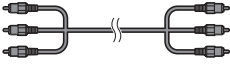
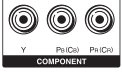
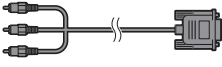
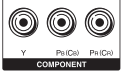
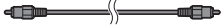
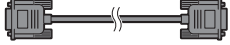
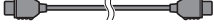
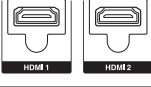
x　：画面（スクリーン）サイズ：40" - 400"
L　：投映距離（m）
L1：最短投映距離（m）
L2：最長投映距離（m）
H　：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（cm）

画面サイズと投映距離の近似式
[m/cm]
L1（m）　= 0.03843 x
L2（m）　= 0.0443 x
H　（cm）= 0.24477 x

4:3 標準スクリーン使用時：16:9 映像を 4:3 標準スクリーンの横幅いっぱいに投映した場合

スクリーンサイズ			投映距離[L]		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離[H]
x：対角（型）	幅	高さ	最短［L1］	最長［L2］	
500	1, 016cm	762cm	14.4m	—	92cm
400	813cm	610cm	11.5m	13.3m	73cm
300	610cm	457cm	8.6m	10.0m	55cm
250	508cm	381cm	7.2m	8.3m	46cm
200	406cm	305cm	5.8m	6.6m	37cm
150	305cm	229cm	4.3m	5.0m	28cm
120	244cm	183cm	3.5m	4.0m	22cm
100	203cm	152cm	2.9m	3.3m	18cm
80	163cm	122cm	2.3m	2.7m	15cm
70	142cm	107cm	2.0m	2.3m	13cm
60	122cm	91cm	1.7m	2.0m	11cm
40	81cm	61cm	1.2m	1.3m	7cm

x　：スクリーンサイズ：40" - 500"
L　：投映距離（m）
L1：最短投映距離（m）
L2：最長投映距離（m）
H　：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（cm）

スクリーンサイズと投映距離の近似式
[m/cm]
L1（m）　= 0.02882 x
L2（m）　= 0.03323 x
H　（cm）= 0.18358 x

メモ

- 「投映距離[L]」と「レンズセンター位置から画面の最下端までの距離[H]」については、**22**ページをご覧ください。
- 表中の寸法は若干の誤差があります。

接続する機器と接続するケーブル例

• 使用しているケーブル名称は一例です。接続する機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。詳しくは本機に接続する機器の取扱説明書で確認してください。

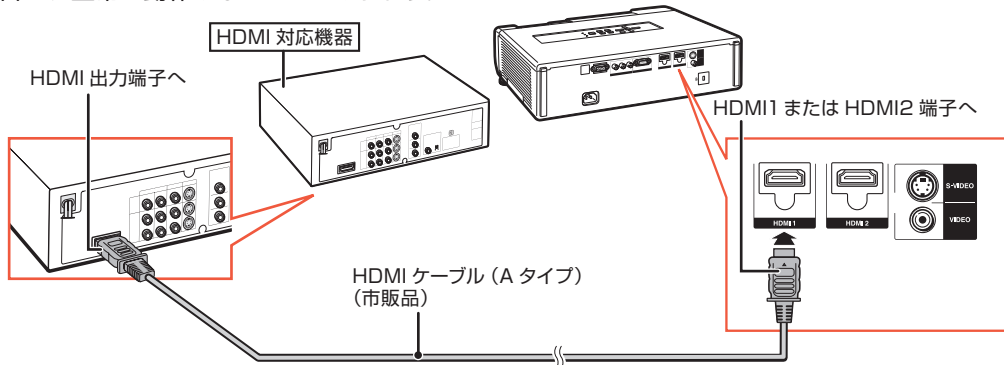
接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
映像機器、カメラ、ゲーム機	HDMIデジタル出力端子	HDMIケーブル（市販品）	HDMI1または2 （➡ 26ページ）
	コンポーネント映像出力端子	コンポーネントケーブル（市販品）	COMPONENT
		3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル（別売品AN-C3CP2）	COMPUTER/COMPONENT
	D映像出力端子	D-コンポーネント変換ケーブル（市販品）	COMPONENT
		D-コンポーネント変換ケーブル（市販品）+3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル（別売品AN-C3CP2） 中継プラグ（市販品）	COMPUTER/COMPONENT
	S映像出力端子	S映像ケーブル（市販品）	S-VIDEO （➡ 26ページ）
	映像出力端子	映像ケーブル（市販品）	VIDEO
コンピュータ	RGB出力端子	RGBケーブル（市販品）	COMPUTER/COMPONENT （➡ 27ページ）
	HDMIデジタル出力端子	HDMIケーブル（市販品）	HDMI1または2

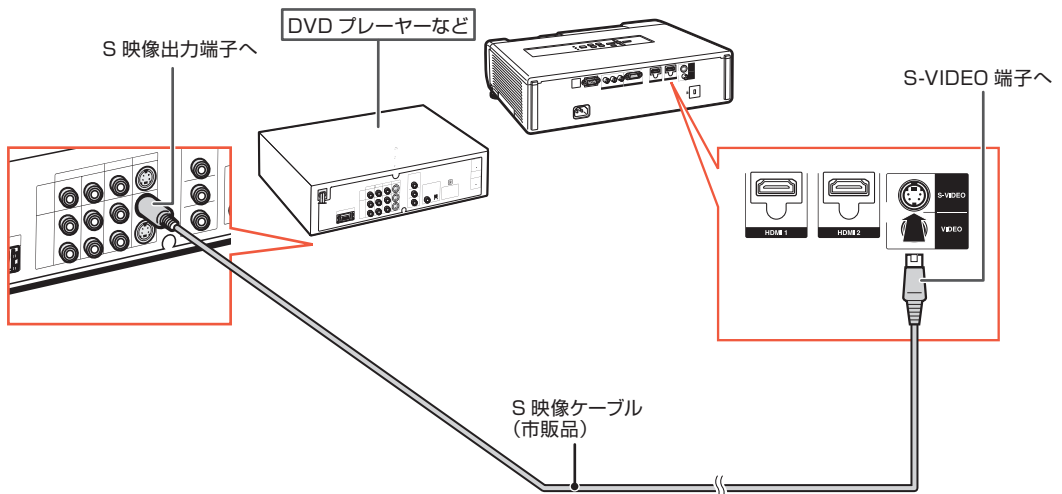
ビデオ機器を接続する

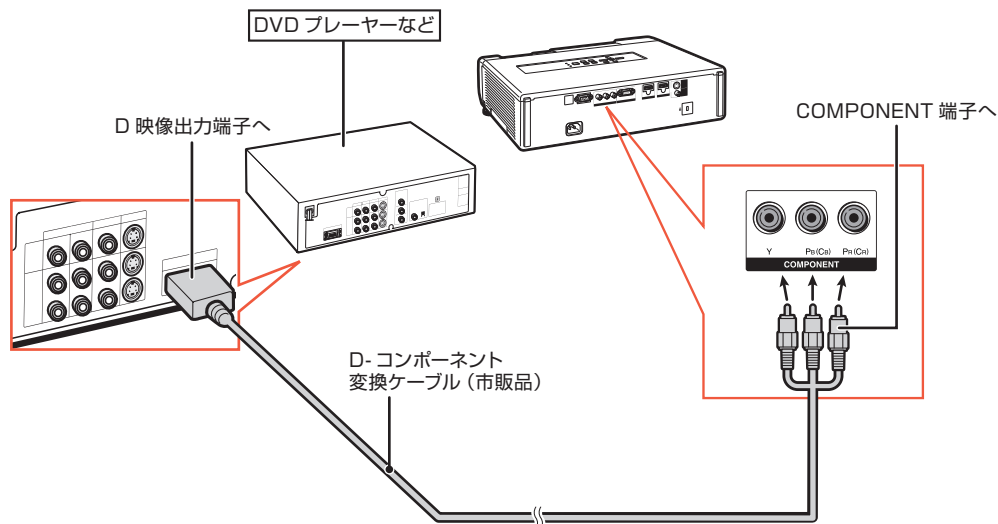
接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わった後で、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。

HDMI出力端子付き機器と本機のHDMI端子を接続する場合

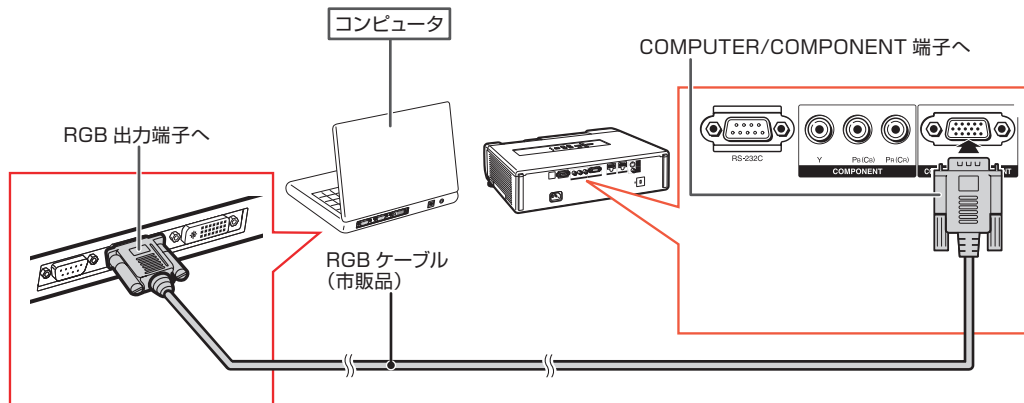
接続には、HDMI 規格に適合したケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合していないケーブルを使用した場合は、正常に動作しないことがあります。

メモ

- 接続機器の仕様や、DVI⇔HDMIデジタルケーブルによっては、信号が正しく伝送されない場合があります。（HDMI仕様は、デジタル出力端子を備えた機器への、DVI⇔HDMIデジタルケーブルによる接続のすべてに対応しているわけではありません。）
- HDMI（High Definition Multimedia Interface）は、ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるデジタルAVインターフェースです。
- 著作権保護技術（High-bandwidth Digital Content Protection system）に対応しているため、デジタルビデオ信号をデジタルのまま劣化させることなく伝送するので、高品位の画質をシンプルな接続で楽しむことができます。

S映像出力端子付きの機器と接続する場合

他の機器との接続については、「接続する機器と接続するケーブル例」（**25** ページ）をご覧ください。

D映像出力端子付き機器と本機のコンポーネント/RGB端子を接続する場合

コンピュータを接続する

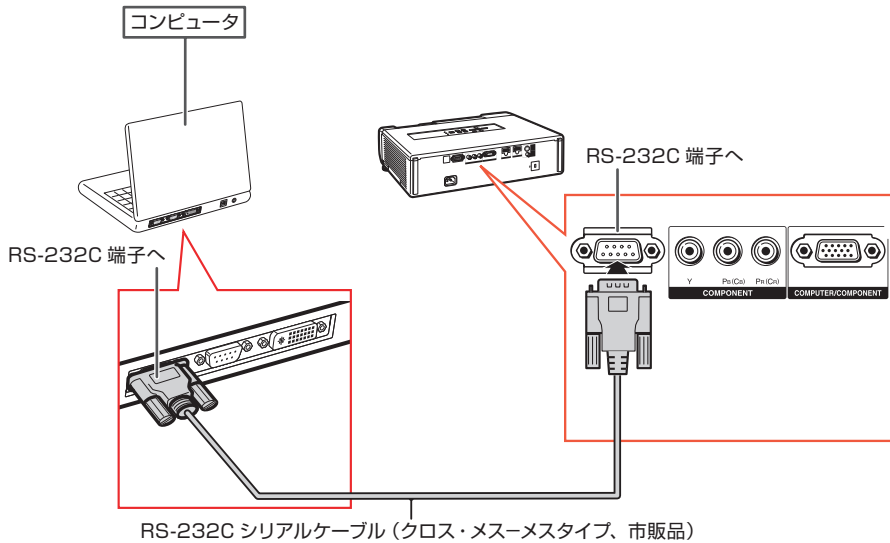
コンピュータと接続する場合は、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。

RGBケーブルを使ってコンピュータと接続する場合

メモ

- 対応しているコンピュータの表示モードについては、「入力信号（推奨信号）一覧表」（**74**ページ）をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- Macintoshと接続する場合、ケーブルにアダプターが必要になる場合があります。もよりのMacintosh販売店にお問い合わせください。
- **お使いのコンピュータによっては、外部出力ポートを有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型コンピュータでは、Fnキーと F5キーを同時に押すと外部出力ポートが有効になります。**詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

プロジェクターをコンピュータで制御する

プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル（RS-232C）ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。

RS-232Cシリアルケーブルを使ってコンピュータに接続する場合

メモ

- RS-232Cでの制御は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- **RS-232Cの仕様とコマンドについては、70ページをご覧ください。**

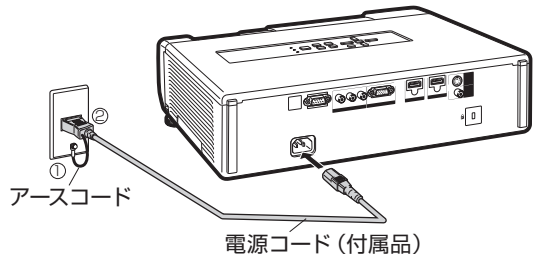
お知らせ

- コンピュータ側の接続には、シリアル（RS-232C）ポート以外は使用しないでください。コンピュータまたはプロジェクターが破損する恐れがあります。
- コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cシリアルケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因になることがあります。

電源の入れかた/切りかた

電源コードを接続する

プロジェクターの背面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- プロジェクターの電源表示が赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。
- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードの取り外しは、必ずプラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

電源を入れるとき

操作を始める前に、外部機器との接続・電源コードの接続を済ませておいてください（**26** ～ **29** ページ）

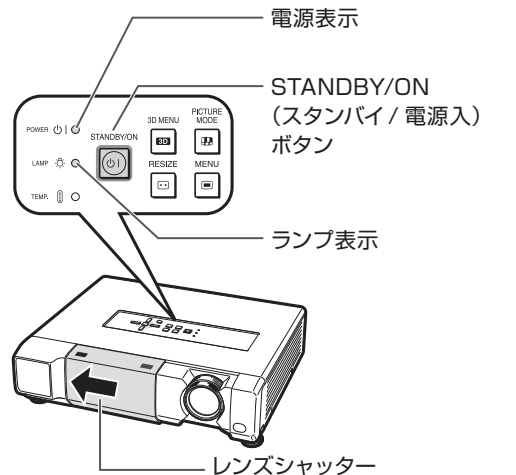
レンズシャッターを完全に開けて、本体のSTANDBY/ONまたはリモコンのONを押す

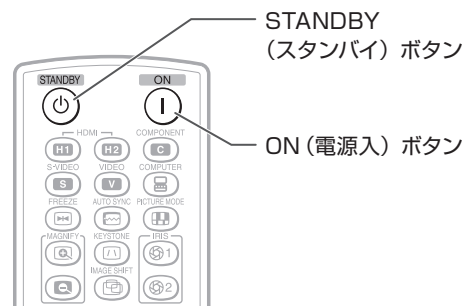
- 電源表示が緑色に点灯します。
- ランプが点灯するとランプ表示が緑色点灯します。ランプ表示が緑色点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。
- レンズシャッターが閉じていると、電源表示は緑色と橙色に交互に点滅し、プロジェクターの電源は入りません。

画面表示

プロジェクターを待機状態にしますか?

はい：もう一度押す

いいえ：少し待つ

メモ

- **ランプ表示について**
  動作状況を以下のようにお知らせします。
  緑色点灯： ランプ点灯中
  緑色点滅： ランプ起動中
  赤色点灯： ランプが正常に起動しない（点灯しない）/ランプ交換
- 電源を入れ、ランプが起動してから約1分間は、まれに投映画像が多少ちらつくことがあります。これはランプ制御回路が出力を安定させるための動作であり、故障ではありません。
- プロジェクターを待機状態にした直後に再び電源を入れると、ランプ（光源）が起動するまで多少時間がかかる場合があります。

電源を切る（待機状態にする）とき

本体のSTANDBY/ONまたはリモコンのSTANDBYを押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

- 冷却中は、プロジェクターの電源を入れることはできません。

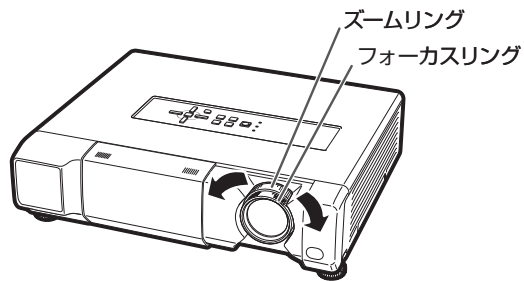
お知らせ

- 本機が作動中であっても電源コードを抜くことができます。

投映画像を調整する

1 投映画像のピントを調整する

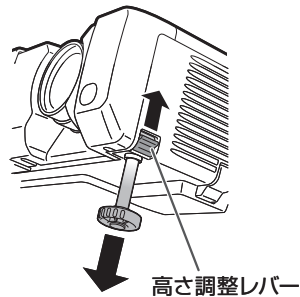
フォーカス（ピント）の調整は、本体のフォーカスリングで行います。

投映画像を見ながらフォーカスリングをまわして調整する

2 投映画像の大きさを調整する

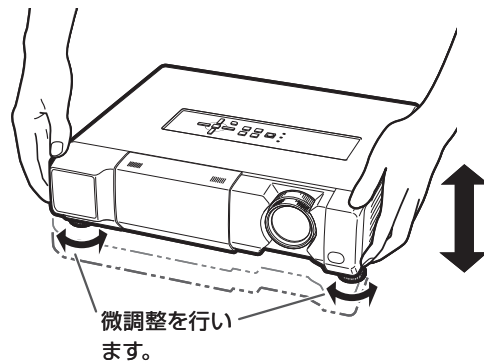
ズーム操作は、本体のズームリングで行います。

ズームリングをまわして拡大/縮小する

3 高さを調整する

プロジェクターの高さは、アジャスターで調整します。
例えばスクリーンの位置がプロジェクターより高い場合、アジャスターを出して、投映する位置を高くすることができます。

1 高さ調整レバーを押したまま、プロジェクターを持ち上げて高さ調整する

2 お好みの高さになったところで、高さ調整レバーから指を離す

- プロジェクターは水平に置いた状態から9度まで角度調整することができます。

メモ

- プロジェクターの高さを調整するとき、プロジェクターとスクリーンとの位置関係が変化することで、映像が台形に歪む場合があります。歪みを補正するには、台形補正の手順に従ってください。（**31**、**50**ページ）

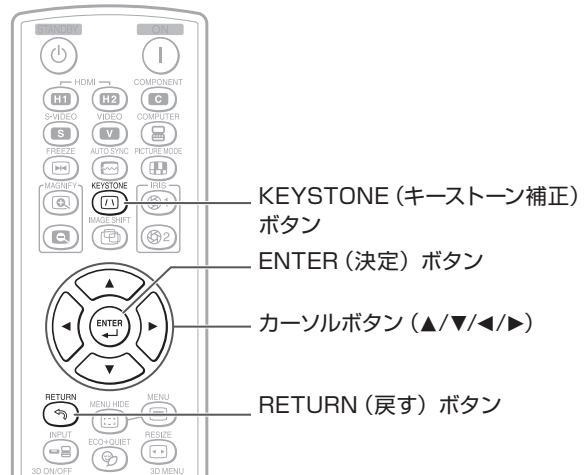
お知らせ

- アジャスターが出ている状態で、過度な力を加えないでください。アジャスターが破損するなど、故障の原因となります。
- プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。
- プロジェクターは本体をしっかり持ってお取り扱いください。
- レンズ部を持たないでください。

台形補正について

平らなスクリーン映像の台形状の歪みや、球面または円錐面のスクリーンに投映された画像の歪みを補正したり、映像を任意の角度に回転させたりすることができます。

■台形補正

映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投映すると、映像が台形に歪みます。この台形の歪みを補正する機能が台形補正です。

メモ

・台形補正機能は、「垂直台形補正」で約±40度、また「水平台形補正」で約±30度までの角度を補正できます。

1 KEYSTONEを押す

・台形補正モードの一覧が表示されます。

2 ▲/▼を押し、「台形補正」を選び、ENTERを押す

・台形補正メニューガイドが表示されます。

台形補正　H: 0　V: 0
終了　調整
テストパターンモード　リセット

選択ボタン	説明
終了→**KEYSTONE**	台形補正メニューガイドが消えます。
調整→▲/▼/◀/▶	台形補正を行います。
テストパターンモード→**ENTER**	テストパターンを表示します。
リセット→**RETURN**	初期値に戻します。

3 ▲/▼/◀/▶を押し、台形補正を行う

◀または▶ボタン	水平台形の歪みを補正します。
▲または▼ボタン	垂直台形の歪みを補正します。

台形補正

水平台形補正

垂直台形補正

メモ

・初期値に戻すには、画面に台形補正モードが表示されているときに**RETURN**を押します。

お知らせ

・台形補正/球面補正/画面回転で画面を調整しているとき、映像の直線やへりがぎざぎざに乱れる場合があります。

4 KEYSTONEを押す

・台形補正メニューガイドが消えます。

■球面補正

球面または円錐面のスクリーンに投映された画像の歪みを補正します。

KEYSTONEを押す

- 台形補正モードの一覧が表示されます。（31ページ）

▲/▼を押し、「球面補正」を選び、ENTERを押す

- 球面補正メニューガイドが表示されます。

選択項目	説明
戻る	台形補正モードの一覧に戻ります。
調整	球面補正を行います。
テストパターンモード	テストパターンを表示します。
リセット	初期値に戻します。

▲/▼/◀/▶を押し、球面補正を行う

▲または▶ボタン	凹面の歪みを補正します。
▼または◀ボタン	凸面の歪みを補正します。

球面補正

凹面の歪み補正

凸面の歪み補正

メモ

- 初期値に戻すには、画面に台形補正モードの一覧が表示されているときに**RETURN**を押します。

KEYSTONEを押す

- 球形補正メニューガイドが消えます。

■画面回転

映像を任意の角度で回転させることができます。

1 KEYSTONEを押す

- 台形補正モードの一覧が表示されます。（31ページ）

2 ▲/▼を押し、「画面回転」を選び、ENTERを押す

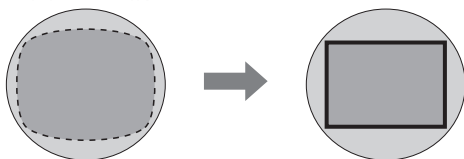
- 画面回転メニューガイドが表示されます。

選択項目	説明
戻る	台形補正モードの一覧に戻ります。
調整	画面回転補正を行います。
テストパターンモード	テストパターンを表示します。
リセット	初期値に戻します。

▲/▼/◀/▶を押し、画面回転補正を行う

▲または▶ボタン	画面を時計回りに回転させます。
▼または◀ボタン	画面を反時計回りに回転させます。

画面回転補正

メモ

- 初期値に戻すには、画面に台形補正モードの一覧が表示されているときに**RETURN**を押します。

4 KEYSTONEを押す

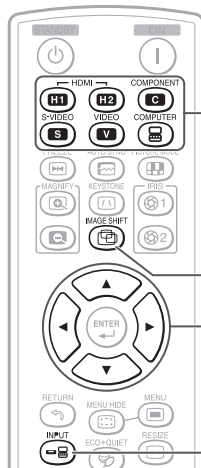
- 画面回転メニューガイドが消えます。

入力を切り換える

接続した機器に合わせて入力を選択します。

リモコンのHDMI1/2、COMPONENT、S-VIDEO、VIDEO、S-VIDEO、COMPUTERを押し、入力モードを選ぶ

• 本体またはリモコンの**INPUT**を押して入力リストを表示させ、▲/▼を押して入力モードを切り換えます。

入力リスト

• 入力モードを切り換えると、次のような画面がスクリーンの右上に表示されます。（この画面で、選択した入力モードと入力信号の情報が確認できます。）

• が表示されている場合は、「3D」が「入」に設定されています。
• 3Dが表示されている場合は、自動判別できる3D映像信号が入力されていることを示します。

投映画面位置を上下左右に移動する

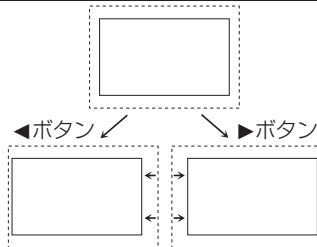
1 IMAGE SHIFTを押す

• 画面シフトメニューガイドが表示されます。

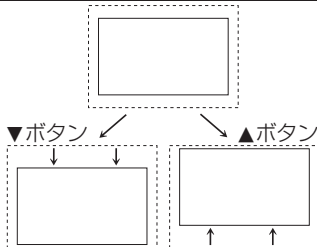
選択ボタン	説明
終了→ **IMAGE SHIFT**	画面シフトメニューガイドが消えます。
調整→▲/▼/◀/▶	画面シフトを行います。
リセット→ **RETURN**	初期値に戻します。

2 ▲/▼/◀/▶を押し、画面の上下左右位置を調整する

水平画面シフト

選択項目	◀ボタン	▶ボタン
水平画面シフト	左方向	右方向

垂直画面シフト

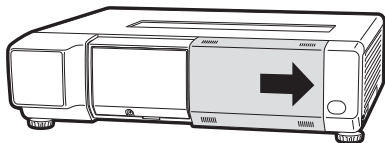
選択項目	▼ボタン	▲ボタン
垂直画面シフト	下方向	上方向

▼ボタン　▲ボタン

• 初期値に戻すには、画面シフトメニューガイドが表示されているときに**RETURN**を押します。
• 画面シフトの調整範囲は、次の項目により変わります。
  - 画面サイズ
  - 映像モード
  - 入力信号の解像度
  - 3D入力信号の種類

使ってみる

つづく

一時的に投映を遮光する

レンズシャッターを閉めると、投映を一時的に遮光します。

メモ

- レンズシャッターが閉じたままの状態で約30分経過すると、電源が自動的に待機状態になります。

投映中の画像を静止画にする

FREEZEを押す
- 投映中の画像が静止画になります。

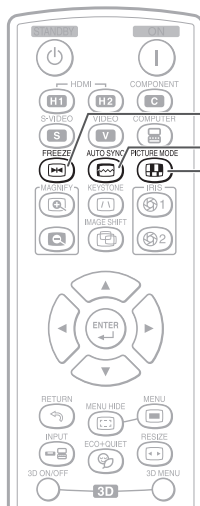
2 **FREEZEを再度押す**
- 接続した機器の現在の画像に戻ります。

コンピュータの画面を自動調整する（自動同期調整）

「自動同期調整」を「入」に設定している場合は、プロジェクターの電源を入れたときに入力信号が検出されると「自動同期調整」機能が働きます。手動での調整は、以下の方法で行います。

AUTO SYNCを押す

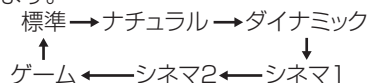
メモ

- 自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、手動で同期調整を行ってください。（**47**ページ）

投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ

映画、ビデオゲームなど投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。

PICTURE MODEを押す

- **PICTURE MODE**を押すと、下記の順序で切り換わります。

標準 → ナチュラル → ダイナミック
↑　　　　　　　　　　　　↓
ゲーム ← シネマ2 ← シネマ1

メモ

- 映像モードについて、詳しくは**43**ページをご覧ください。

画像の一部を拡大表示する

グラフや表など画像の一部を拡大することができます。一部分を強調したり、大きく見やすい表示にしたりするときに便利です。

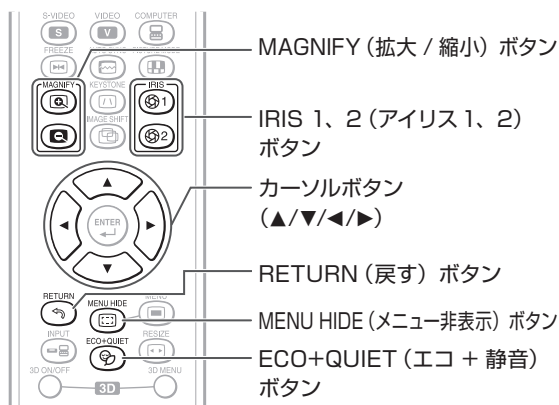
1 リモコンの MAGNIFYを押す

- 映像が拡大されます。
- (拡大) または (縮小) を押すと、投映画像が拡大または縮小します。

- ▲、▼、◀、▶を使って拡大部分の位置を移動することができます。

2 リモコンのRETURNを押して解除する

- 初期値 (×1) に戻すには、拡大モードの画面表示中に**RETURN**を押します。

- 選択できる倍率は、入力信号によって異なります。
- この機能は、3Dモードでは利用できません。
- 次のような場合、映像は標準サイズ (x1) に戻ります。
  - 入力切換を行ったとき
  - 拡大モードの画面表示中に、**RETURN**を押したとき
  - 入力信号を変更したとき
  - 入力信号の解像度やリフレッシュレート (垂直周波数) が変わったとき
  - 画面サイズが変わったとき
  - 映像切換を行ったとき
  - 2Dモードと3Dモードが切り換わったとき

アイリス切換機能を使用する

映像の明るさやコントラストの強さを切り換えることができます。

IRIS 1 または 2 を押す

- 表示が出ている間に押すと下記のように切り換わります。

■ IRIS 1　高輝度 ⟷ 高コントラスト
■ IRIS 2　入 ⟷ 切

- 詳しくは**44**ページをご覧ください。

メニューを一時的に非表示にする (メニュー非表示)

メニュー画面が表示されているときにリモコンのMENU HIDEを押し続けると、メニュー画面を一時的に非表示にすることができます。この機能は、映像調整情報を確認するときなどに便利です。

エコ + 静音モードを切り換える

ECO+QUIETを押し、エコ + 静音モードを有効または無効にする

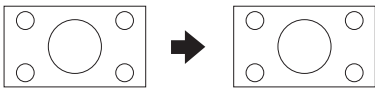
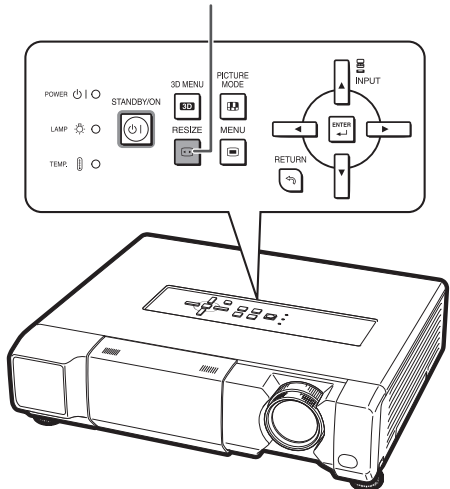
- エコ + 静音モードが「入」に設定されていると、冷却ファンの音が小さくなり、電力消費量が減少しランプ寿命が長くなります。

- 詳しくは、「エコ + 静音」(**44**ページ) をご覧ください。

入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ

入力された信号の種類に合わせて、画面の大きさを切り換えることができます。

本体またはリモコンのRESIZEを押す

メモ

- 入力信号（解像度や垂直周波数）によって、選べる画面サイズは変わります。

画面サイズの種類

画面サイズ	表示イメージ
標準	入力信号の縦横比を保持した映像を表示します。
16:9	16:9から4:3に圧縮された映像をもとの16:9に戻して画面いっぱいに表示します。
ズーム	シネマスコープ（シネスコ）サイズまたは16：9サイズの映像を画面いっぱいに表示するのに適しています。

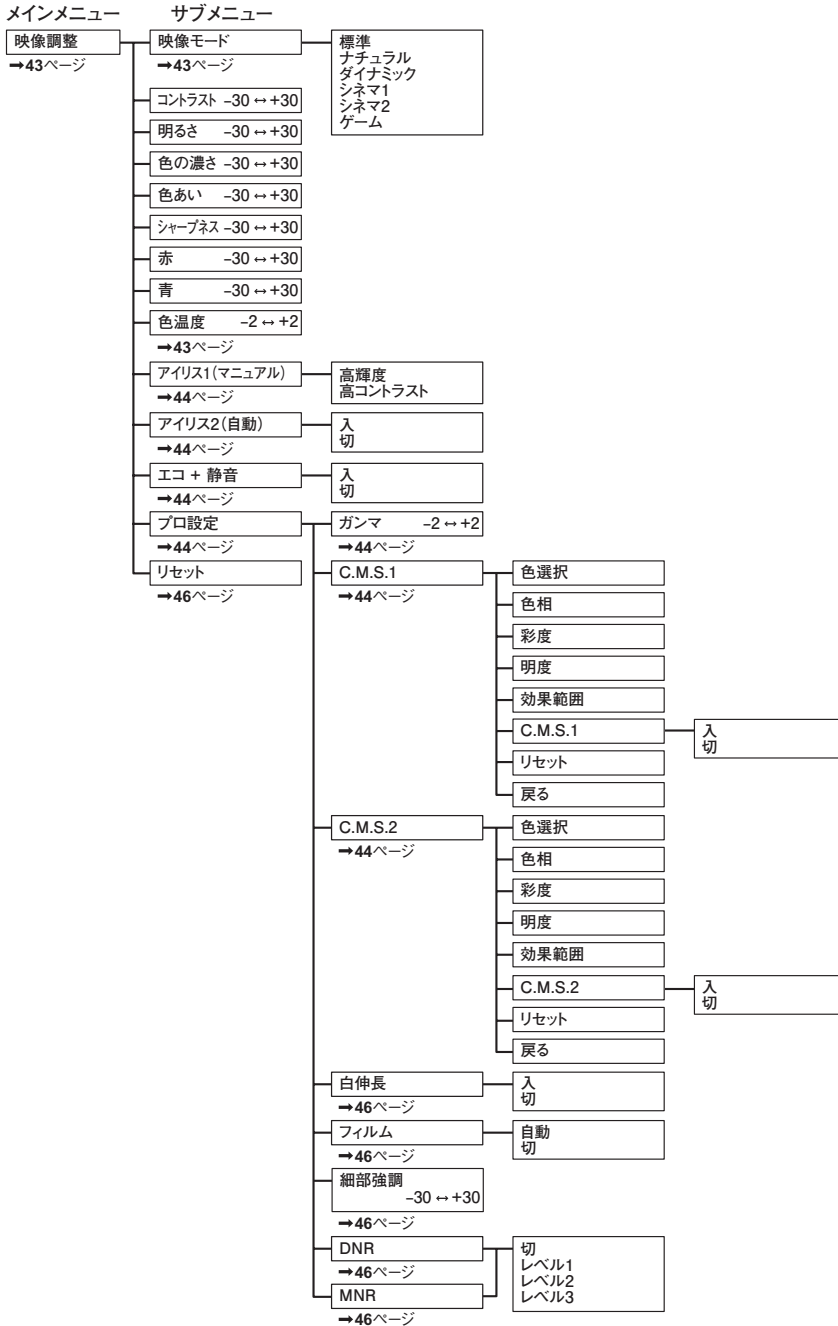
画面サイズ	表示イメージ
ズーム 14:9	レターボックス付き14：9映像をそのままの縦横比で大きく表示するのに適しています。
スマートズーム	縦横比4：3の映像をより自然に拡大して表示します。
リアル	入力信号どおりの映像を表示します。

著作権について

- 本機のRESIZE（画面サイズ切換）機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズ（表示イメージ）を選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズ（表示イメージ）を選択してください。
- 映像を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、RESIZE（画面サイズ切換）機能やオーバースキャン機能を利用して映像の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

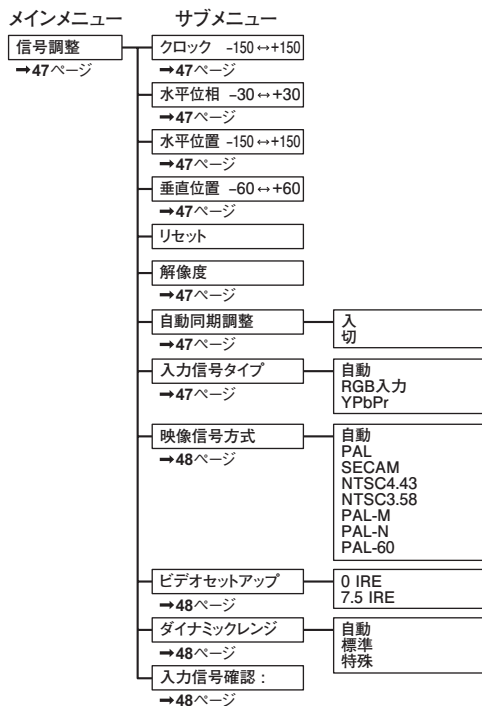
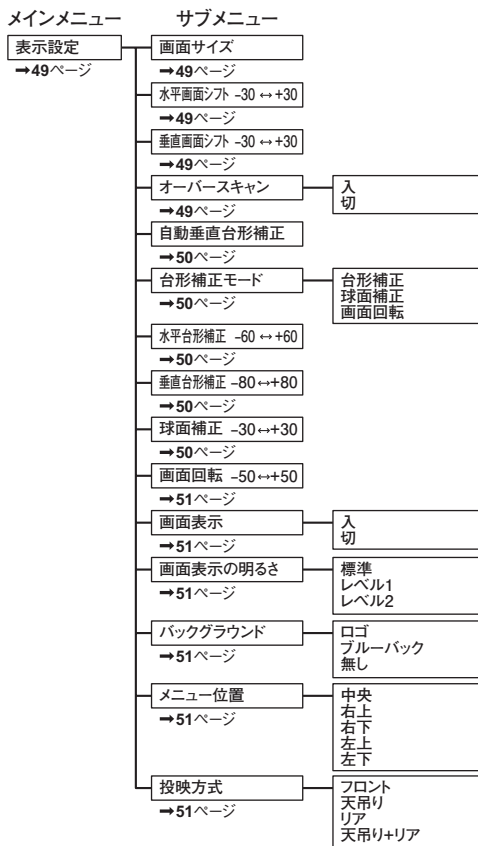
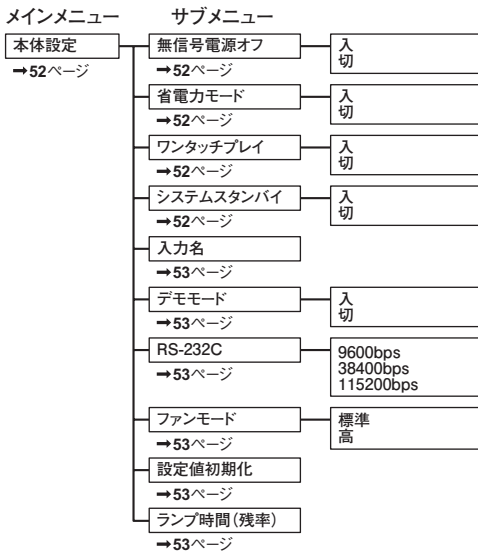
メニュー内容一覧

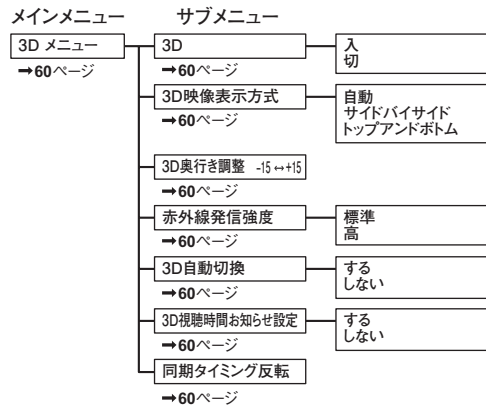
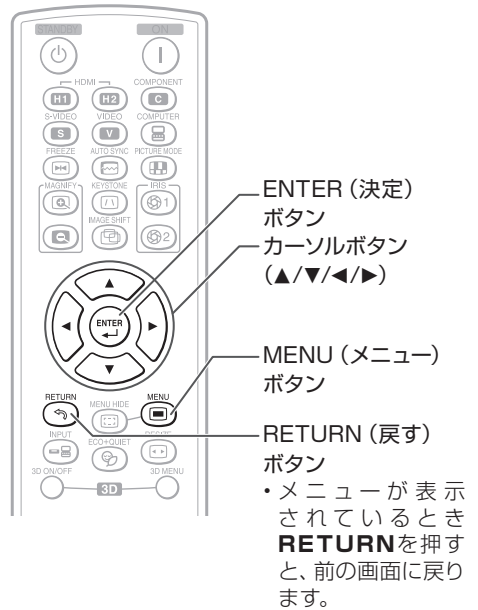
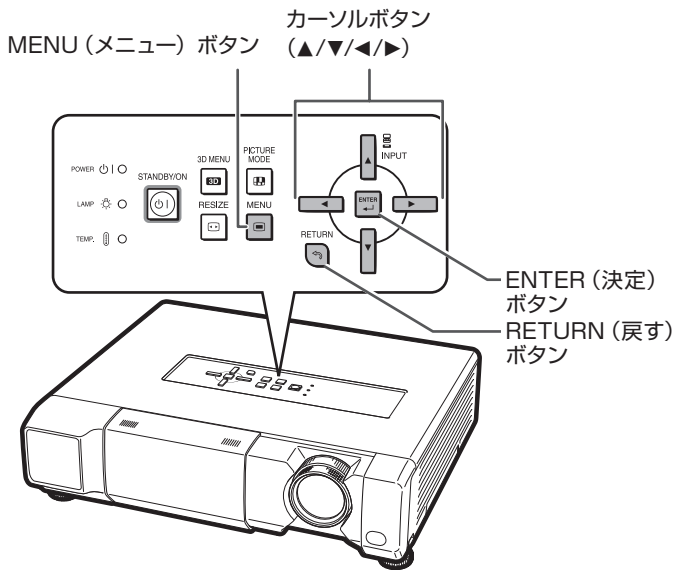
次の項目が本機で設定できます。
選択している入力や信号、設定値によって、設定できる項目は変わります。設定できない項目はグレー色で表示されます。

「映像調整」メニュー

「信号調整」メニュー

「表示設定」メニュー

便利な機能

つづく

「本体設定」メニュー

「3D メニュー」

メニュー操作のしかた

メニュー画面で調整する

・本体のボタンを使って操作することもできます。

1 **MENUを押す**

・選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 **◀/▶を押し、メニューバーから調整するメニュー画面を選ぶ**

入力をCOMPONENTにしている場合の「映像調整」メニュー画面例

メニュー操作のしかた（つづき）

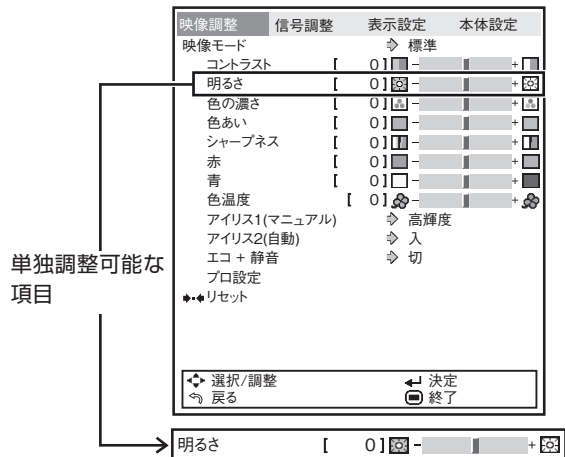
3 ▲/▼を押し、調整する項目を選ぶ

・ここでは例として「明るさ」を選択しています。

投映されている画像を見ながら調整したいとき

ENTERを押す

・選択した項目（例：「明るさ」など）が画面下へ単独表示されます。
・この項目の状態で▲/▼を押すと、次の項目（「明るさ」で▼を押すと「色の濃さ」）が表示されます。

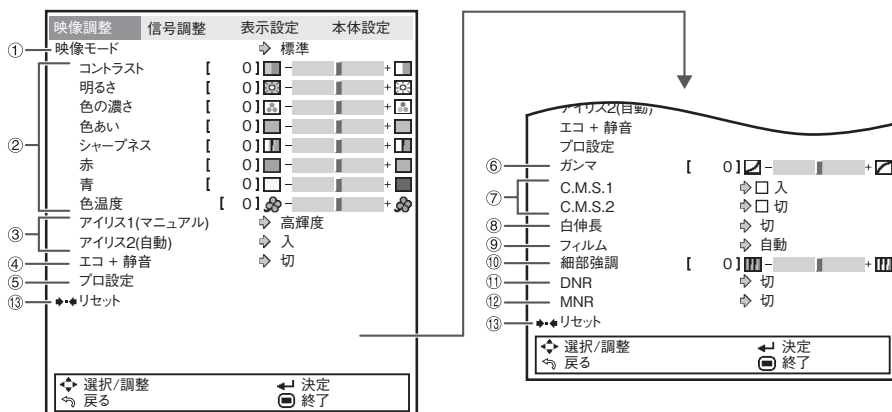
・**RETURN**を押すと、前の画面に戻ります。

4 ◀/▶を押し、選んだ項目の調整（設定）をする

・調整した内容が保存されます。
・メニューの項目によっては、▶を押してサブメニューに入り、▲/▼で設定項目を選択し、**ENTER**で設定を完了するものがあります。

5 MENUを押す

・メニュー画面が消えます。

映像を調整する（「映像調整」メニュー）

操作方法⇒41ページ参照

①映像モードを選択する

部屋の明るさや投映する映像に合わせて映像モードを選ぶことができます。

選択項目	内容	映像モードを選んだときのおもな初期設定内容				
		色温度	白伸長	アイリス1（マニュアル）	アイリス2（自動）	エコ ＋ 静音
標準	標準の設定です。	0	切	高輝度	入	切
ナチュラル	自然な色バランスの映像になります。	0	切	高輝度	切	切
ダイナミック	メリハリのある画質になります。	0	入	高輝度	切	切
シネマ1	暗い環境で、比較的暗めの映画を見るのに適しています。	-1	切	高コントラスト	切	入
シネマ2	暗い環境で、比較的明るめの映画を見るのに適しています。	-1	切	高コントラスト	入	入
ゲーム	オーディオと映像が同期していないときや、映像をシャープにしたいときに選択します。	0	入	高輝度	切	切

• 映像調整メニュー内の各項目は、お好みに応じた組み合わせに変更できます。変更した内容はそのまま記憶されます。

メモ

• リモコンの**PICTURE MODE**でも選択できます。（**34**ページ）
• 初期設定内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

②お好みの映像に調整する

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
コントラスト	映像の明部と暗部の差を弱くします。	映像の明部と暗部の差を強くします。
明るさ	画像を暗くします。	画像を明るくします。
色の濃さ	色をうすくします。	色を濃くします。
色あい	紫がかった色あいにします。	緑がかった色あいにします。
シャープネス	画像の輪郭をやわらかくします。	画像の輪郭をくっきりさせます。
赤	赤みを弱くします。	赤みを強くします。
青	青みを弱くします。	青みを強くします。
色温度	赤みがかった（温かい感じの）色にします。	青みがかった（すっきりした感じの）色にします。

操作方法⇒41ページ参照

③アイリス切換機能を使用する

映像の明るさやコントラストの強さを切り換えることができます。

■アイリス1（マニュアル）

選択項目	内容
高輝度	コントラストより明るさを優先させます。
高コントラスト	明るさよりコントラストを優先させます。

■アイリス2（自動）

映像に最適なコントラストを自動的に選択します。

選択項目	内容
入	自動調整でコントラストを優先させます。
切	自動調整をせず、明るさを優先させます。

• リモコンの**IRIS 1**、**2**を使って切り換えることもできます。（**35**ページ）

④エコ＋静音

選択項目	明るさと消費電力
入	約75%
切	100%

• 「入」に設定されているときは、電力消費量が減少し、ランプ寿命が長くなります。（投映画面の明るさは、約25%低減します。）

⑤プロ設定を使う

「プロ設定」では映像の状態をお好みに応じてさらにきめ細かく調整できます。
プロ設定のメニューを表示するには、「プロ設定」を選んで **ENTER** を押します。

• 「プロ設定」の内容が表示されているときに、もう一度「プロ設定」を選んで**ENTER**を押すと、「映像調整」メニューに戻ります。

⑥映像を補正する（ガンマ補正）

投映の状況などにより、映像の暗い部分が見にくい場合に、ガンマ設定を補正して、映像を明るく見やすくすることができます。

選択項目	内容
+2	明るいグラデーションにします。
+1	
0	標準設定です。
-1	暗いグラデーションにします。
-2	

⑦色を調整する（C.M.S）

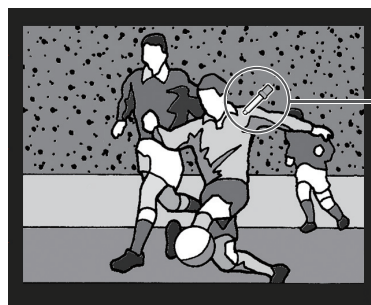
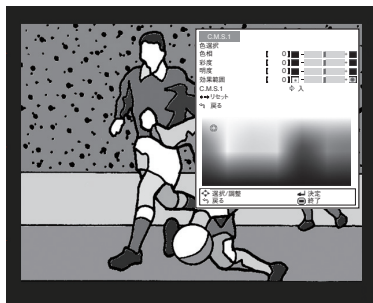
「色相」「彩度」「明度」「効果範囲」を設定することで、投映画像をお好みの色に調整することができます。

メモ

• 調整の前に、調整する画像を用意してください。
• 動画よりも静止画に適しています。

1 **「プロ設定」で「C.M.S.1」または「C.M.S.2」（C.M.S：カラーマネージメント）を選び、ENTERを押す**

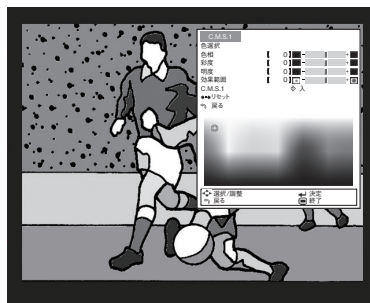
• 過去に調整された色のデータがない場合、色選択画面とピッカーが表示されます。（手順2に進みます。）

操作方法⇒41ページ参照

・前回調整された色のデータがある場合、C.M.S.色調整画面が表示されます。（手順3に進みます。）

2 ピッカーを使って画像内の調整したい色を選択する（ピッカーはリモコンの▲/▼/◀/▶で操作できます）

・投映画像を🔍または🔍MAGNIFYで拡大することで、さらにきめ細かい調整ができます。

・▲/▼/◀/▶を押し続けると、ピッカーの動きが速くなります。

調整したい色を選び**ENTER**を押すと、C.M.S.色調整画面が表示されます。（手順3に進みます。）

3 C.M.S.色調整画面で各項目を設定し、調整する

C.M.S. 色調整画面

選択項目	内容
色選択	調整する色を選択します。
色相	系統色の色相を設定します。
彩度	系統色の彩度を設定します。
明度	系統色の明るさを設定します。
効果範囲*1	色調整の範囲を指定します。
C.M.S.1（またはC.M.S.2）*2	調整後の投映画像がどう見えるか確認します。
リセット	「色相」「彩度」「明度」「効果範囲」を初期値に戻します。
戻る	色調整を終了し、C.M.S.色調整画面を閉じます。

*1 色調整の範囲を指定するには、「効果範囲」を選択し、◀または▶ボタンを押します。

◀ボタン	指定範囲を小さくします。
▶ボタン	指定範囲を大きくします。

*2 投映画像がどう見えるか確認するには、「C.M.S.1」（または「C.M.S.2」）を選択し「入」または「切」に設定します。

入	色調整が反映された後の投映画像を確認します。
切	前の色調整の投映画像を確認します。

4 C.M.S.色調整を終了するときは、「戻る」を選びENTERを押す

メモ

・C.M.S.色調整は、「C.M.S.1」と「C.M.S.2」のそれぞれに対して可能です。

映像を調整する(「映像調整」メニュー)(つづき)

操作方法⇒41ページ参照

⑧白伸長を調整する

映像の明るい部分をより明るくします。

選択項目	内容
入	白伸長機能が働きます。
切	白伸長機能が働きません。

⑨フィルムモードを選択する

フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ/秒の映像を高画質に再生します。

選択項目	内容
自動	フィルム検出を自動で行います。
切	フィルム検出をしません。

⑩細部強調を設定する

映像の細部を強調することで、奥行き感のある映像にします。

◀ボタン	細部強調を弱くします。
▶ボタン	細部強調を強くします。

⑪ノイズを軽減する(DNR)

デジタルノイズリダクション(DNR)機能を使うことで、微細なドットのちらつきやクロスカラーノイズを軽減できます。

選択項目	内容
切	DNR機能が働きません。
レベル1	映像がもっとも見やすくなるようにレベルを設定します。
レベル2	
レベル3	

メモ

- **次のような場合は「切」に設定します。**
  - 画像がぼやけて見えるとき
  - 動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき
  - 電波の弱いテレビ放送を投映しているとき
- この機能は、下記の信号に対して利用できます。
  - S-VIDEOまたはVIDEO
  - 480I/480P
  - 576I/576P

⑫モスキートノイズを低減する(MNR)

モスキートノイズ(ちらつき)を低減できます。

選択項目	内容
切	MNR機能が働きません。
レベル1	映像がもっとも見やすくなるようにレベルを設定します。
レベル2	
レベル3	

メモ

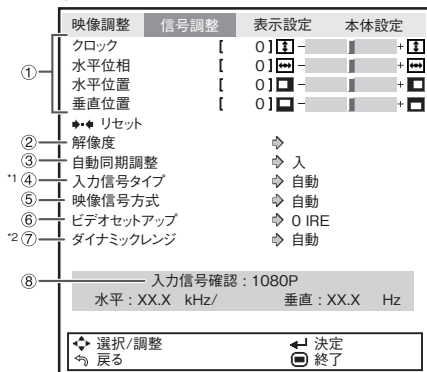
- **次のような場合は「切」に設定します。**
  - 画像がぼやけて見えるとき
  - 動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき
  - 電波の弱いテレビ放送を投映しているとき
- この機能は、下記の信号に対して利用できます。
  - S-VIDEOまたはVIDEO
  - 480I/480P
  - 576I/576P

⑬設定した内容をリセットする

映像調整メニューの設定内容すべてを工場出荷時の状態に戻すには、「リセット」を選択し、**ENTER**を押します。

コンピュータの画像を調整する(「信号調整」メニュー)

操作方法⇒41ページ参照

下記の画面は説明のために表示してありますので、実際とは多少異なります。

*1 入力モードがS-VIDEOまたはVIDEO入力の場合、表示は「映像信号方式」の画面に変わります。
*2 入力モードが、HDMI入力のときに表示されます。

①縦縞模様やちらつきを軽減する(同期調整)

縦縞模様やちらつきが気になるときは同期調整してください。

選択項目	内容
クロック	垂直ノイズを調整します。
水平位相	水平ノイズを調整します。(トラッキング調整)
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させます。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させます。

メモ

- コンピュータの映像は、「信号調整」メニューの「自動同期調整」を「入」にするか、リモコンの**AUTO SYNC**を使うと、簡単に調整できます。
- 入力信号によっては、それぞれの項目の調整範囲が変わったり、調整自体ができなくなったりします。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び**ENTER**を押します。

②入力信号に合わせた解像度を選択する

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

メモ

- コンピュータの一行おきに繰り返されるパターン(水平方向の縞模様)を表示させないでください。(ちらつきがおこり、画面が見にくくなります。)
- 現在選択されている入力信号の情報は、「入力信号確認」(**48**ページ)で確認できます。

③コンピュータの画面を自動調整する(自動同期調整)

選択項目	内容
入	プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
切	自動同期調整を行いません。

メモ

- 自動同期調整は、リモコンの**AUTO SYNC**を使って行うこともできます。
- 「自動同期調整」を「切」に設定しているときリモコンの**AUTO SYNC**を押すと、「入」モードで自動調整を行います。1分以内に再度押すと、「入」モードで自動調整を行います。
- 自動同期調整は、投映するコンピュータの映像によっては時間がかかる場合があります。
- 自動同期調整を行ってもお客様の意図した映像にならない場合は、手動で同期調整を行ってください。

④入力信号タイプを設定する

入力がHDMI1、HDMI2あるいはCOMPUTERの場合は、入力信号に合わせてRGBかYPbPrを選択します。

選択項目	内容
自動	RGBとYPbPrから最適な入力信号を自動的に選択します。
RGB	RGB信号を受信するときに設定します。
YPbPr	YPbPr信号を受信するときに設定します。

操作方法⇒41ページ参照

⑤映像信号方式を設定する

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。ただし「自動」では、映像信号方式の違いにより、接続した AV 機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。

選択項目
自動
PAL
SECAM
NTSC4.43*
NTSC3.58
PAL-M
PAL-N
PAL-60

* NTSC信号を、PAL映像機器で再生する場合

メモ

- 映像信号は、VIDEOまたはS-VIDEOモードでのみ設定できます。
- 「映像信号方式」が「自動」に設定されているときは、信号の違いにより鮮明な映像が受信できない場合があります。その場合は、「映像信号方式」をそれぞれの入力信号に切り換えてください。

⑥ビデオセットアップを設定する

選択項目	内容
0 IRE	黒レベルを0 IREに設定します。
7.5 IRE	黒レベルを7.5 IREに設定します。

メモ

- この機能は、下記の信号に対して利用できます。
  COMPONENTまたはCOMPUTER/COMPONENT入力の場合：
  - 480I
  S-VIDEOまたはVIDEO入力の場合：
  - NTSC3.58

⑦ダイナミックレンジを調整する

HDMI 映像出力機器の出力形式と、本機の入力信号形式が合っていないと、最良の映像が投映されない場合があります。そのようなときにダイナミックレンジを切り換えます。

選択項目	内容
自動	通常は、「自動」の設定でご使用ください。
標準	映像の黒部がつぶれたり、黒部が浮き上がったりするときに、映像が最良になる方を選択します。
特殊	

⑧入力信号確認

現在選択されている入力信号の情報を確認できます。

投映した映像を調整する（「表示設定」メニュー）

操作方法⇒41ページ参照

下記の画面は説明のために表示してありますので、実際とは多少異なります。

①画面サイズを設定する

メモ

- 画面サイズについて、詳しくは**36**ページをご覧ください。
- リモコンの**RESIZE**を押しても、画面サイズを設定できます。（**36**ページ）

②映像の位置を上下方向に調整する（画面シフト）

投映した画像を左右（水平）または上下（垂直）に移動することができます。

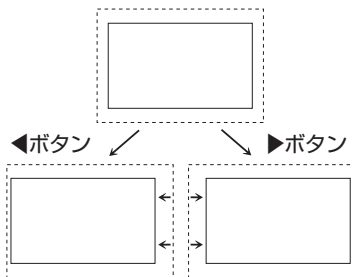
■水平画面シフト

選択項目	◀ボタン	▶ボタン
水平画面シフト	左方向	右方向

■垂直画面シフト

選択項目	◀ボタン	▶ボタン
垂直画面シフト	下方向	上方向

メモ

- 画面シフトの調整範囲は、下記の項目により変わります。
  - 画面サイズ
  - 映像モード
  - 入力信号の解像度
  - 3D入力信号の種類

③オーバースキャンの調整をする

オーバースキャン率(表示エリア)の調整ができます。

選択項目	内容
入	入力エリアを、ふちなしで表示します。
切	入力エリア全体を表示します。

メモ

- オーバースキャンエリアは、下記の入力信号と画面サイズのときに調整できます。
  入力信号
  - 480I/480P
  - 540P
  - 576I/576P
  - 720P
  - 1035I
  - 1080I/1080P

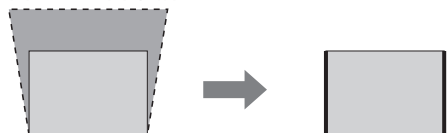
  画面サイズ
  - 標準
  - 16:9
  - ズーム
  - ズーム 14:9
- 表示率を大きくしすぎると、画面のふちにノイズが現れます。この場合には表示率を小さくしてください。
- **37**ページの「著作権について」もご留意ください。

投映した映像を調整する（「表示設定」メニュー）（つづき）

④上下の台形補正を自動で行う（自動垂直台形補正）

「表示設定」メニューの「自動垂直台形補正」を選び、**ENTER**を押すと、上下（垂直）の台形補正が自動的に行われます。

メモ
- 画面に自動垂直台形補正「入」が表示されているときに**ENTER**を押すと、自動垂直台形補正「切」に切り換わります。
- 「自動垂直台形補正」では、約±12度までの角度を補正できます。
- 台形補正モードについて、詳しくは**31**ページをご覧ください。

自動垂直台形補正

⑤画面の台形歪みを補正する（台形補正モード）

平らなスクリーン映像の台形状の歪みや、球面または円錐面のスクリーンに投映された画像の歪みを補正したり、映像を任意の角度に回転させたりすることができます。

メモ
- 台形補正モードについて、詳しくは**31**ページをご覧ください。

お知らせ
- 台形補正/球面補正/画面回転で画面を調整しているとき、映像の直線やへりがぎざぎざに乱れる場合があります。

操作方法⇒**41**ページ参照

「表示設定」メニューの「台形補正モード」を選び、**ENTER**を押し、「台形補正」「球面補正」「画面回転」からお好みの項目を選んで**ENTER**を押します。初期設定では「台形補正」が選択されており、「水平台形補正」と「垂直台形補正」を調整できます。

■台形補正

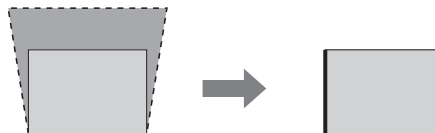
水平台形補正

◀または▶	上側と下側を平行にします。

左右方向の台形補正

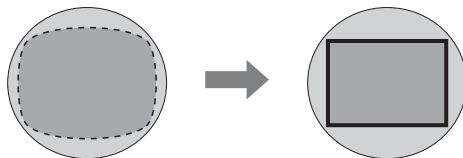
垂直台形補正

◀または▶	左側と右側を平行にします。

上下方向の台形補正

■球面補正

球面または円錐面に投映された画面の歪みを補正します。

◀ボタン	中心部を狭くします。
▶ボタン	中心部を広くします。

球面補正
凸面の歪み補正

凹面の歪み補正

■ 画面回転

映像を任意の角度で回転させることができます。

◀ボタン	画面を反時計回りに回転させます。
▶ボタン	画面を時計回りに回転させます。

画面回転補正

⑥画面に表示されている情報を表示しないように設定する（画面表示）

選択項目	内容
入	画面表示のすべてが表示されます。
切	INPUT/FREEZE/AUTO SYNC/RESIZE/PICTURE MODE/ECO+QUIET/MAGNIFY/3D ON/OFF（3D/2Dモードの切換）は表示されません。

⑦メニュー画面の明るさを設定する

メニュー画面の明るさを設定します。

選択項目	内容
標準	標準の明るさです。
レベル1	「標準」より暗くなります。
レベル2	「レベル1」よりさらに暗くなります。

⑧無信号時に投映する画面を設定する（バックグラウンド）

選択項目	内容
ロゴ	SHARPロゴ画面
ブルーバック	青い画面
無し	—（黒い画面）

⑨メニュー画面の表示位置を設定する（メニュー位置）

「表示設定」の「メニュー位置」でメニュー画面を表示させる位置を設定することができます。

選択項目	内容
中央	画面の中央に表示します。
右上	画面の右上に表示します。
右下	画面の右下に表示します。
左上	画面の左上に表示します。
左下	画面の左下に表示します。

操作方法⇒**41**ページ参照

⑩投映環境に合わせた投映方式を選択する

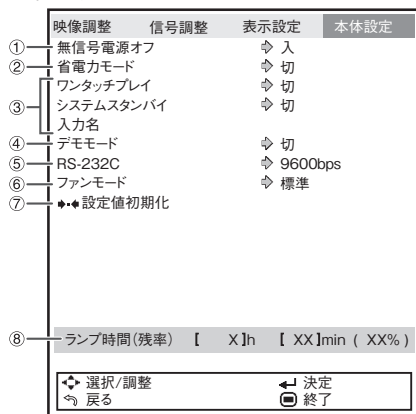
本機は投映する環境（場所）に合わせて映像を反転する機能を備えており、下記のような対応が可能です。

選択項目	内容
フロント	通常映像（スクリーンの正面から投映するとき）
天吊り	上下反転された映像（プロジェクターを逆さまにしてスクリーンの正面から投映するとき）
リア	左右反転された映像（スクリーンの背面から投映したり、鏡を使って投映したとき）
天吊り+リア	左右/上下反転された映像（プロジェクターの映像を鏡を使って投映したとき）

投映方式について、**23** ページも合わせてご覧ください。

プロジェクターの機能を調整する（「本体設定」メニュー）

操作方法⇒**41**ページ参照

下記の画面は説明のため表示してありますので、実際とは多少異なります。

①無信号電源オフモードを設定する

無信号状態が続いたときに電源を自動的に待機状態にします。

選択項目	内容
入	15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。
切	無信号状態が15分以上続いても、電源「入」の状態を保持します。

メモ

- 無信号電源オフ機能を「入」に設定した場合は、無信号状態が続いたとき、待機状態になる5分前になると、「X分後に待機状態」のメッセージが表示されます。

②省電力モードを設定する

選択項目	内容
入	省電力モード機能が働きます。
切	連動している機能を使用できます。RS-232Cで待機状態のプロジェクターを制御できます。

メモ

- RS-232Cで本機を制御する場合は「切」に設定してください。
- 省電力モードが「入」に設定されているときは、ワンタッチプレイは「切」になります。

③ワンタッチプレイ、システムスタンバイ、および入力名を設定する

Consumer Electronics Control (HDMI CEC)を備えたシャープ製品をHDMIケーブルで本機に接続すると、CEC機能「ワンタッチプレイ」「システムスタンバイ」を利用できます。

メモ

- 一部のCEC機器では、CEC機能が働かないことがあります。（本機がシャープ製以外の機器に接続されていると、CEC機能が働かない場合があります。）

■ワンタッチプレイ機能の設定

接続されているシャープ製CEC機器の電源を入れるか、または再生を開始すると、ワンタッチプレイ機能の働きで自動的に本機の電源が入り、入力が選択されます。

選択項目	内容
入	ワンタッチプレイが働きます。
切	ワンタッチプレイは働きません。

メモ

- ワンタッチプレイを有効にする場合は、必ず本機と接続したシャープ製CEC機器のCEC設定を有効にしてください。
- ワンタッチプレイが「入」に設定されているときは、省電力モードは「切」になります。
- 次の場合、ワンタッチプレイは働きません。
  - 再生を一時停止しているとき
  - レンズシャッターが閉まって画面が消えているとき
  - 冷却ファンの作動中（**64**ページ）
  - ランプの起動中（**64**ページ）

■システムスタンバイ機能の設定

本機の電源を切ると、本機に接続されたCEC機器は待機状態になります。

選択項目	内容
入	システムスタンバイが働きます。
切	システムスタンバイは働きません。

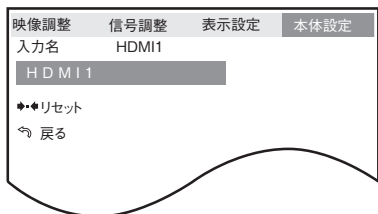
メモ

- システムスタンバイを有効にする場合は、必ず本機と接続したシャープ製CEC機器のCEC設定を有効にしてください。

操作方法⇒41ページ参照

■入力名の設定

入力名（入力端子名）を設定します。（半角英数字で 14 文字以内）

1 ▲/▼で「入力名」を選び、ENTERを押す

◀または▶ボタン	文字欄を選択します。
▲または▼ボタン	文字を選択します。
ENTERボタン	入力名を設定します。

2 ▲/▼を押して「戻る」を選び、ENTERを押して前の画面に戻る

- 前の設定内容に戻すには、「リセット」を選び、**ENTER**を押します。

メモ

- 本機のHDMI1あるいはHDMI2端子とシャープ製CEC機器をHDMIケーブルで接続し、CEC機能「ワンタッチプレイ」「システムスタンバイ」が正常に働いているときは、接続されているシャープ製品の名前が自動的に取得されます。
- 入力名がすでに変更されている場合は、その名前が表示されます。
- 初期設定の名前に戻すには、「リセット」を選び**ENTER**を押します。

④デモモードを設定する

デモモードを「入」または「切」にします。

選択項目	内容
入	デモモードを有効にします。
切	デモモードを無効にします。

⑤RS-232Cの通信速度を選択する（RS-232C設定）

プロジェクターとコンピュータの通信速度は同じ速度に合わせてください。

選択項目	内容
9600bps	通信速度が遅い
38400bps	↕
115200bps	通信速度が速い

⑥ファンモードを設定する

ファンの回転速度を設定します。

選択項目	内容
標準	標準的な環境に適しています。
高	標高約1,500m以上でご使用になるときに設定します。

- 「ファンモード」を「高」に設定したときは、ファンの回転速度が速くなるためファン音が大きくなります。

⑦設定値を工場出荷状態に戻す

「設定値初期化」の機能を使って、設定内容を初期化することができます。

メモ

次の項目は初期化されません。
- 「信号調整」メニュー
  - 解像度
- 「本体設定」メニュー
  - ランプ時間（残率）

⑧ランプの使用時間を確認するには

ランプの使用時間と残率が表示されます。

ランプ使用条件	残りのランプ寿命	
残率表示	100%	5%
「エコ＋静音」を常に「入」にして使用	約 3,000 時間	約 150 時間
「エコ＋静音」を常に「切」にして使用	約 2,000 時間	約 100 時間

メモ

- ランプ残率が5%以下になると、ランプを交換することをおすすめします。
- ランプ寿命は、使用条件により変わることがあります。

3D映像を楽しむ

3D映像の視聴中のご注意

■ 3Dメガネの近くで強い電磁波を生じる機器（携帯電話、ハンディ無線機など）を使用しないでください。誤動作の原因となります。

■ 高温あるいは低温では3Dメガネは十分な性能を発揮できません。使用温度範囲でお使いください。（使用温度範囲10℃〜40℃）

■ 3Dメガネは正しく装着してください。上下を反対にしたり、前後を逆にしたりすると、正しい立体像が見られません。

■ 3Dメガネをかけた状態では、ほかのディスプレイ（パソコン画面、デジタル時計、電卓など）の表示が見づらくなることがあります。3D映像以外は、3Dメガネをはずして見てください。

■ 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dメガネを使用しないでください。

■ 3Dメガネは、両目を水平に近い状態で視聴してください。横になったり顔を傾けたりすると、映像が暗くなったり3D効果を感じにくくなったりすることがあります。

■ 画面の有効高さの3倍程度の視距離で見てください。（推奨距離）

100インチ、16:9画像：約3.8m

■ 蛍光灯などの照明によっては、ちらついて見えることがあります。このような場合は、蛍光灯を暗くしたり消したりして視聴してください。

■ 本機に対応していない3D信号が入力された場合、映像が二重に見えたり、3D映像にならない場合があります。

3D映像を快適に視聴するには

■ 「3D奥行き調整」機能を使って3D効果を調整します。（**60**ページ）

■ 投映画像を拡大/縮小して、最適なサイズに調整します。（不適切なサイズで投映すると、3D効果が得られず、また目の疲労の原因となります。）

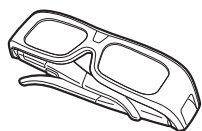
■ 同期タイミング反転機能を使用して、映像を左右の目に合うように設定します。（同期タイミング反転の使用について、詳しくは**60**ページをご覧ください。）

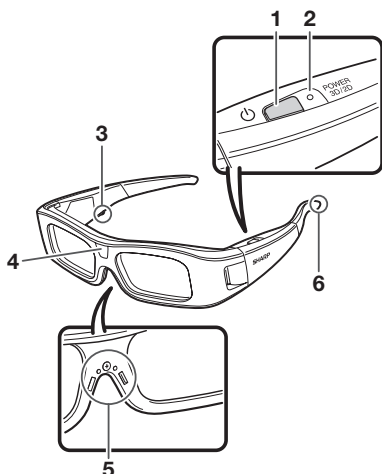
■ 複数のプロジェクターから同時に投映すると、3D映像にならない場合があります。

お知らせ

- 3D投映機能を使用している（「3D」が「入」に設定されている）とき、投映画像が暗くなることがあります。
- 「3D」が「入」に設定されているとき、以下の機能が十分に働かない場合があります。
  - 台形補正/球面補正/画面回転
  - 画面シフト
  - 拡大
- 3D効果には個人差があり、例えば左右の目で視力に大きな差があるなどすると、3D効果を得られないことがあります。また、投映する映像のコンテンツによっても、3D映像にならない場合があります。

3D メガネ用付属品

３D 映像を楽しむには、本機に付属している３D メガネか、別売の AN-3DG10（S/R/A）が必要です。
本機に３D メガネ（２個）関連の付属品が下記のとおり揃っていることをご確認ください。

* 3D メガネ固定バンドとノーズパッドは、必要に応じて使用してください。

各部のなまえ

1　**電源ボタン**
- 3D メガネの電源を入 / 切するときは、電源ボタンを 2 秒以上押します。
- 電源が入っている場合に押すと、2D モードと 3D モードが切り換わります。（**57** ページ）

2　**電源ランプ**
- 電源が入ると 3 回点滅します。
- 2D モードを選択すると 2 回点滅します。
- 3D モードを選択すると 3 回点滅します。
- 電池の残量が少なくなると 6 回点滅します。
- 電源が切れると、2 秒間点灯した後に消灯します。

3　**サービス用端子**
この端子には何も接続しないでください。

4　**赤外線受信部**
本機から送信された赤外線信号は、スクリーンに反射し、この赤外線受信部で受信されます。３分間以上信号受信がないと、3D メガネの電源は自動的に切れます。

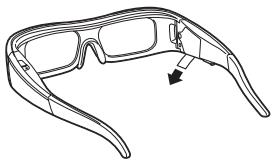
5　**ノーズパッド取付部** **56**
付属のノーズパッドを取り付けます。

6　**3D メガネ固定バンド取付部** **57**
付属の 3D メガネ固定バンドを取り付けます。

メモ

- 赤外線受信部を汚したり、シールなどを貼ったりしないでください。信号の受信ができなくなり、3Dメガネが正常に動作しなくなることがあります。
- 近くで他の赤外線通信機器をお使いの場合、正しい3D画像が見られなくなることがあります。

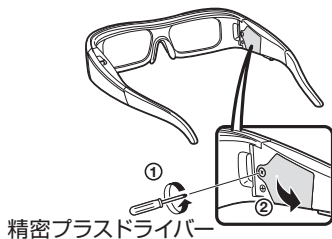
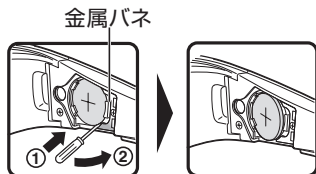
3D メガネの絶縁シートを取り外す

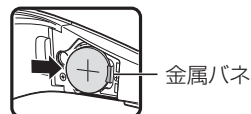
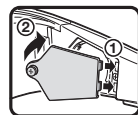
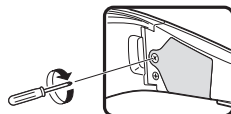
3D メガネをお使いになるときは、はじめに絶縁シートを取り外してください。

お知らせ

- 電池残量が少なくなると、3Dメガネの電源を入れたときにランプが連続で6回点滅します。
- ボタン電池を交換するときは日立マクセル製のコイン型リチウム電池（CR2032）をご使用ください。
- 電池の極性（プラスとマイナス）を逆に入れないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

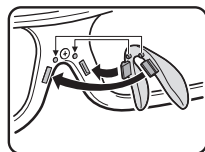
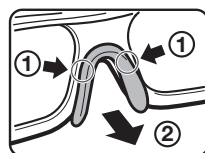
電池交換のしかた

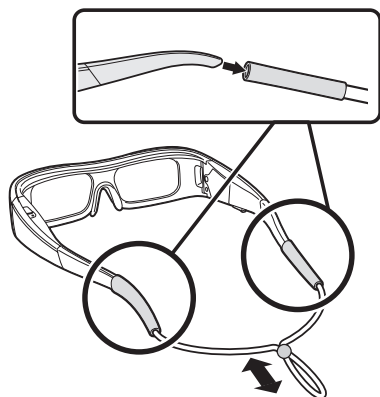
- 金属バネにマイナスドライバーを引っかけないようにしてください。
- マイナスドライバーは、奥まで差し込みすぎないようにしてください。

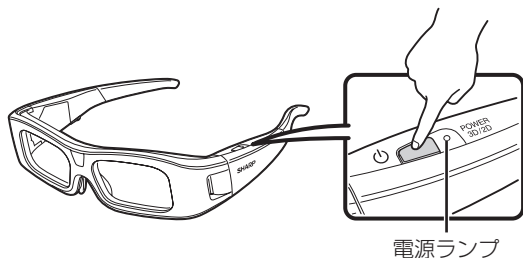
1 フタのネジを付属の精密プラスドライバーでゆるめてフタを外す

2 右下のプラスチック部分と電池の間に付属の精密マイナスドライバーを差し込み、電池を持ち上げる

3 電池が外れたら指で取り出し、新しい電池を用意する

4 新しい電池を金属バネの下にもぐり込ませ、電池を上から指で押してプラスチックのフックに引っかける

5 フタを閉じる

6 フタのネジを付属の精密プラスドライバーで締める

ノーズパッドを取り付ける

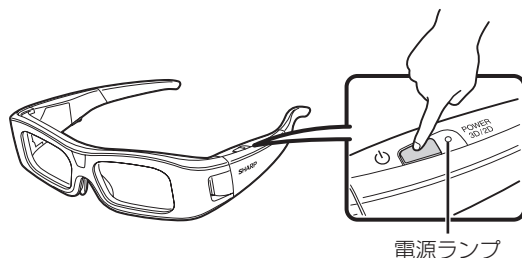
- 必要に応じて、付属のノーズパッドを取り付けてご使用ください。
- ノーズパッドは大と小の2種類ありますので、ご自分に合ったノーズパッドをご使用ください。

ノーズパッドの取り付け

ノーズパッドの取り外し

固定バンドを取り付ける

必要に応じて、付属の 3D メガネ固定バンドを取り付けてご使用ください。

3D メガネの電源の入 / 切をする

3D メガネの電源ボタン・3D/2D 切換ボタンを約 2秒間押し続けると電源が入り、電源ランプが 3 回点滅します。電源を切るときは、電源ボタン・3D/2D 切換ボタンを約 2 秒間押し続けてください。(電源ランプが 2 秒点灯して、電源が切れます。)

電源	操作	電源ランプ
オンにする	2秒長押し	3回点滅
オフにする	オンの状態から2秒長押し	2秒点灯

2D 映像へ切り換える

3D 映像視聴中に 3D メガネの電源ボタン・3D/2D 切換ボタンをダブルクリックする（2 秒以内に2回押す）と、2D 映像に切り換わります。

視聴時	操作	電源ランプ	切り換え
3D映像	2回押す	2回点滅	2D映像
2D映像	2回押す	3回点滅	3D映像

3D メガネの使用範囲

本機から送信された赤外線信号はスクリーンに反射し、3D メガネはその反射した赤外線信号を受信することで動作します。
信号の受信が 3 分間ないと、3D メガネの電源は自動的に切れます。

3D メガネの使用範囲は、以下のとおりです。

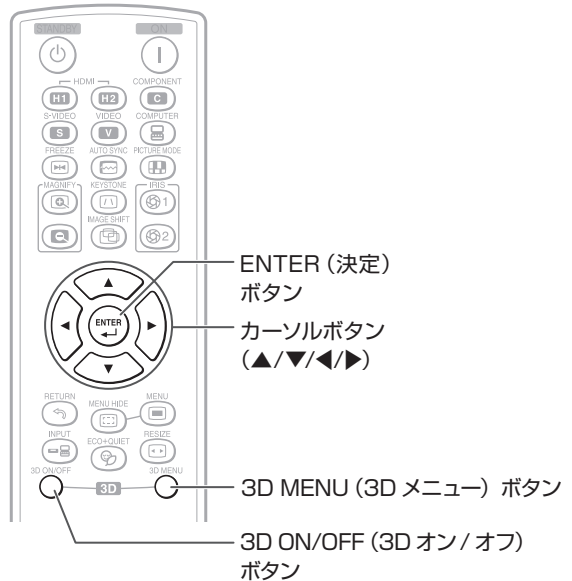
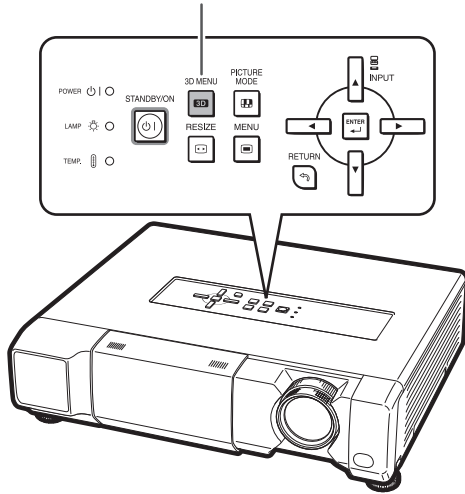
「赤外線発信強度」設定	動作範囲（スクリーンからの距離）
標準	約3.8m
強	約5.6m

（赤外線発信強度について、詳しくは **60** ページをご覧ください。）

- 3D 映像は、必ず上記の動作範囲内で視聴してください。動作範囲外では、3D メガネの機能が働かない場合があります。
- 上記の動作範囲は、スクリーンゲインが 1.0 のスクリーンを使用し、スクリーンの正面で視聴した場合の平均値です。動作範囲は、視聴する位置やスクリーンのゲインレベルなど使用状況によって変わります。（斜めの位置から視聴すると、動作範囲は狭まります。）

メモ

・3Dモードのとき、赤外線発信部が点灯します。

3D映像を楽しむ (つづき)

メモ

- 本機が3D映像信号を検出しようとするときや、3Dモードから2Dモードに切り換わるとき、一時的に投映が途絶えることがあります。

3D 映像を視聴する

自動識別信号のある 3D 映像を受信したとき

映像信号によっては 3D 識別信号が含まれているものがあります。本機では「3D メニュー」の「3D 自動切換」を設定することにより、自動的に 3D 映像の種類を検出することができます。(**60** ページ)

1 **「3D自動切換」が「する」に設定されている場合**

- 3D映像の種類が自動的に検出され、適切な3D映像が表示されます。

「3D自動切換」が「しない」に設定されている場合

- 次のメッセージが表示されます。

3D映像が入力されました。
3Dで視聴する場合は、3D ON/OFFボタンを押してください。

- **3D ON/OFF**を押します。

2 **3Dメガネの電源を入れ、メガネをかける**

- 電源ボタンを2秒以上押します。
- 電源ランプが3回点滅します。

3 **3D映像を視聴できる**

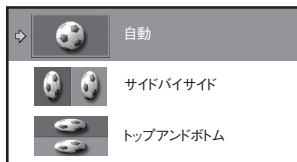
自動識別信号のない 3D 映像を受信したとき

1 **3D MENUを押す**
・3Dメニュー画面が表示されます。

2 **▲/▼を押し、「3D」を選ぶ**

3 **◀/▶を押し、「入」または「切」を選ぶ**
・3Dモードで視聴するときは、「入」を選んで手順4に進みます。
・対応する3D信号と映像表示方式については、「3D映像表示方式メニューを設定する」（**61**ページ）をご覧ください。
・「切」を選択すると、2D映像となります。

4 **▲/▼を押し、「3D映像表示方式」を選び、ENTERを押す**

5 **▲/▼を押し、リストから対応フォーマットを選び、ENTERを押す**

・入力信号と同じ方式を選択すると、3D映像が表示されます。

6 **3Dメガネの電源を入れ、メガネをかける**
・電源ボタンを2秒以上押します。
・電源ランプが3回点滅します。

7 **3D映像を視聴できる**

3D 映像の視聴を終了する

1 **3Dモードでの視聴中に3D ON/OFFを押す**

2 **3Dメガネをはずして3Dメガネの電源を切る**
・電源ボタンを2秒以上押します。
・電源ランプが2秒間、点滅します。

メモ
・入力信号を2Dに切り換えると、2D映像が自動的に表示されます。
・下記の場合、3Dモードは自動的に解除されます。
- 信号が受信されなくなったとき
- 信号の種類が変わったとき
- 入力選択が変更されたとき
- 電源を切ったとき

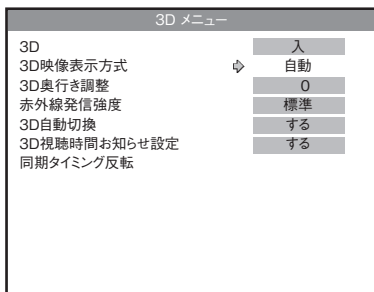
お知らせ
・付属の3Dメガネは、赤外線制御方式を利用したシャープ製の3D対応液晶テレビまたはプロジェクターでのみ使用できます。

3Dメガネのレンズ
・3Dメガネのレンズに力を加えないでください。また、3Dメガネを落としたり曲げたりしないでください。
・3Dメガネのレンズの表面に尖った器具などで傷を付けないでください。3D映像の画質が損なわれます。
・レンズを拭く場合は、付属のクリーニングクロスを使用してください。

3Dメガネの赤外線受信部
・赤外線受信部を汚さないでください。また、シールなどを貼らないでください。受信部が正常に動作しなくなる場合があります。
・3Dメガネが他の赤外線データ通信機器の影響を受けると、3D映像が正しく表示されない場合があります。

鑑賞中の注意
・3Dメガネやプロジェクターの近くで他の3D製品や電子機器の電源が入っていると、3Dメガネが正常に機能しない場合があります。他の3D製品や電子機器の電源を切るか、3Dメガネから離れた場所に置くようにしてください。

3D 設定をする（3D メニュー）

下記の画面は説明のため表示してありますので、実際とは多少異なります。

3D

2D モードと 3D モードを切り換えることができます。

選択項目	内容
入	3D映像を投映します。
切	2D映像を投映します。

メモ

- 「3D自動切換」が「する」に設定されている場合は、3D信号が検出されると「3D」は自動的に「入」に切り換わります。
- 3D識別信号が検出されないとき
  - 「入」を選んだときは、「3D映像表示方式」で表示方式を選んでください。
  - 「切」を選んだときは、2D映像となります。

3D映像表示方式

自動識別信号のない 3D 映像を受信したときは手動で 3D 映像表示方式を設定できます。

選択項目	内容
自動	入力された3D識別信号に合わせて自動的に映像表示方式を選択します。
サイドバイサイド	受信した3D信号と同じ種類の映像表示方式を選択します。
トップアンドボトム	

メモ

- 3D対応信号と3D映像表示方式については、「3D映像表示方式メニューを設定する」（**61** ページ）をご覧ください。

3D奥行き調整

3D 映像の立体視効果を調整できます。

選択項目	内容
◀ボタン	立体視効果を弱くします。
▶ボタン	立体視効果を強くします。

メモ

- この機能をご利用いただくと、より快適に3D映像を視聴することができます。
- この機能を使って3D映像を視聴すると、オリジナルの立体表示とは違って見えますのでご注意ください。
- 映像を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、この機能を利用すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

赤外線発信強度

赤外線発信強度を変えることができます。

選択項目	内容
標準	通常の強さです。
強	大きなスクリーンを使用すると、スクリーンから離れて視聴することになり、3Dメガネが赤外線信号をうまく受信できなくなるときがあります。この場合に「強」を選び、赤外線の発信強度を高めます。

メモ

- 「強」に設定していると、AV機器やエアコンなど、リモコンと同じ赤外線通信機器に影響を与える場合があります。

3D自動切換

3D 識別信号が入力されたときに自動的に 3D モードに切り換えるための設定です。

選択項目	内容
する	3D信号が検出されると、3Dモードが自動的に選択されます。
しない	自動切換機能は働きません。

3D視聴時間お知らせ設定

3D 映像を長時間見続けるのを防ぐために、経過時間を知らせてくれる機能です。

選択項目	内容
する	3D映像の視聴を始めてから、1時間ごとに経過時間が画面に表示されます。
しない	視聴時間を表示しません。

同期タイミング反転

自動識別信号のないフレームシーケンシャル方式の 3D 映像が入力されたときに、左目用の映像と右目用の映像を手動で設定できます。

- **ENTER** を押し、3D 映像がより自然に見えるよう設定してください。

3D 映像表示方式メニューを設定する

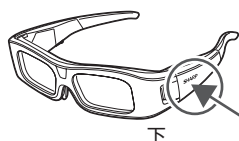
最適な 3D 映像表示方式は、次の表を参照して選択してください。

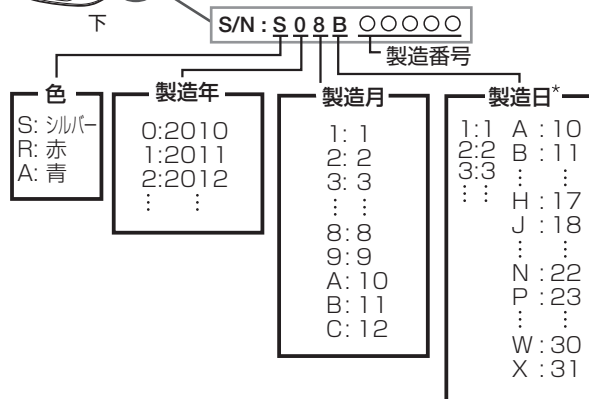
入力信号				対応	「3D」が「切」のとき	「3D」が「入」のとき 3D 映像表示方式		
						自動	サイドバイサイド	トップアンドボトム
フレームパッキング	3D 識別信号あり	720P	50Hz	✔	左目用の映像を表示 (2D モード)	正しい 3D 映像を表示 (3D モード)	–*1	–*1
		720P	60Hz	✔				
		1080I	50Hz					
		1080I	60Hz					
		1080P	24Hz	✔				
		1080P	50Hz					
		1080P	60Hz					
サイドバイサイド	3D 識別信号あり	720P	50Hz	✔	左目用の映像を表示 (2D モード)	正しい 3D 映像を表示 (3D モード)	–*1	–*1
		720P	60Hz	✔				
		1080I	50Hz	✔				
		1080I	60Hz	✔				
		1080P	24Hz					
		1080P	50Hz	✔				
		1080P	60Hz	✔				
	3D 識別信号なし	720P	50Hz	✔	入力信号をそのまま表示 (スルー表示)	入力信号をそのまま表示 (スルー表示) *2	正しい 3D 映像を表示 (3D モード)	崩れた表示 (間違った設定)
		720P	60Hz	✔				
		1080I	50Hz	✔				
		1080I	60Hz	✔				
		1080P	24Hz					
		1080P	50Hz	✔				
		1080P	60Hz	✔				
トップアンドボトム	3D 識別信号あり	720P	50Hz	✔	左目用の映像を表示 (2D モード)	正しい 3D 映像を表示 (3D モード)	–*1	–*1
		720P	60Hz	✔				
		1080I	50Hz					
		1080I	60Hz					
		1080P	24Hz	✔				
		1080P	50Hz	✔				
		1080P	60Hz	✔				
	3D 識別信号なし	720P	50Hz	✔	入力信号をそのまま表示 (スルー表示)	入力信号をそのまま表示 (スルー表示) *2	崩れた表示 (間違った設定)	正しい 3D 映像を表示 (3D モード)
		720P	60Hz	✔				
		1080I	50Hz					
		1080I	60Hz					
		1080P	24Hz	✔				
		1080P	50Hz	✔				
		1080P	60Hz	✔				

*1「3D 映像表示方式」は自動的に「自動」に設定されます。
*2 フレームレートが変更されます。

つづく

仕様 - 3D メガネ

形名	AN-3DG10
レンズ方式	液晶シャッター方式
使用電源	DC3V
電池	リチウムコイン電池（CR2032 × 1）
電池持続時間	連続使用で約 75 時間
寸法（幅×高さ×奥行）	172.7 × 47.5 × 170.0mm
重量	65.0g（リチウムコイン電池を含む）
使用温度	10℃～40℃ （高温や低温では 3D メガネは十分な性能を発揮しません。使用温度をお守りください。）

製品のシリアル番号は、左のイラストのように 3D メガネに表記されています。
最初の４桁は製品の色および製造年月日を表します。

例：色：シルバー、製造年月日：2010 年 8 月 11 日

* 「I」、「O」、「Y」、「Z」は使用されていません。

製品および各製品梱包に記載された記号は、日本、中国、EU での環境に関するものです。

日本向け

中国向け

中国向け

EU 向け

お手入れのしかた

キャビネットのお手入れのしかた

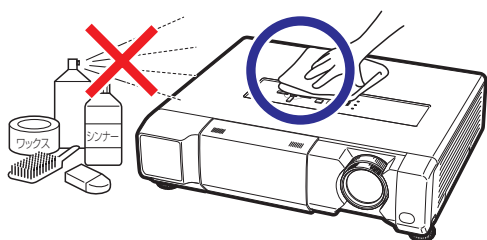
■ キャビネットをお手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。

■ キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。

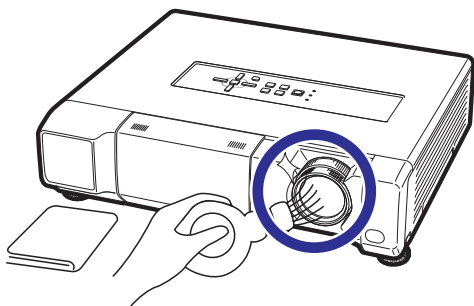
■ 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

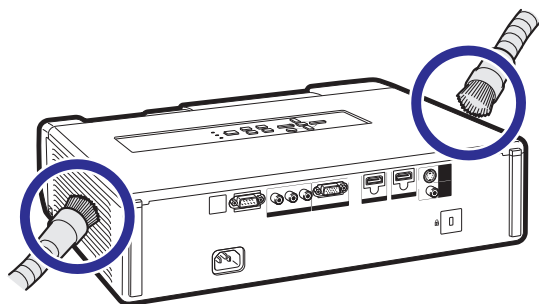
■ 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。
化学雑巾（乾式/湿式のシートタイプの布など）を使用すると、キャビネットの部品を変形させたり、傷を付ける原因となります。

■ お手入れの際、硬い布を用いたり、強く力を入れたりすると、キャビネットの表面に傷を付ける原因となります。

■ 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

レンズのお手入れのしかた

■ レンズの清掃は、市販のブロワーやレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラなどの清掃に使用）で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。

■ 表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。

排気孔や吸気孔のお手入れのしかた

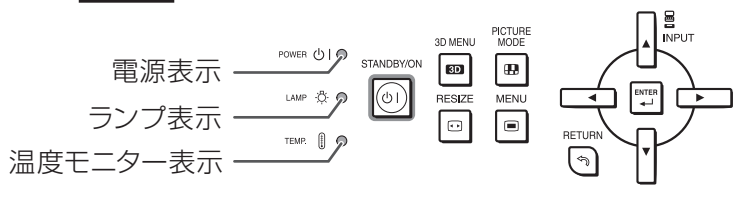
■ 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。

お知らせ

• プロジェクターの動作中に排気孔や吸気孔の掃除を行う場合は、本体の**STANDBY/ON**またはリモコンの**STANDBY** を押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

お知らせ表示について

■ 本機では、内部の異常をお知らせ表示（電源表示、ランプ表示、温度モニター表示）が点灯してお知らせします。
■ 内部に異常が生じると、その異常の状況によって、温度モニターもしくはランプ表示が赤色に点灯し、電源が待機状態になります。この場合、以下の処置を行ってください。

上面図

電源表示
ランプ表示
温度モニター表示

温度モニター機能について

設置状況や排気孔、吸気孔の目づまり等により内部温度が高温になると、温度モニター表示が点滅します。さらに温度が上昇すると、画面左下に「温度」の表示が点灯し、温度モニター表示が点滅します。この状態が続くとランプが消え、冷却ファンが回り始め、本機は待機状態になります。温度モニター表示が点滅するときは、**65**ページの内容に従って処置をしてください。

ランプ交換お知らせ機能について

ランプを交換してください。

■ ランプ残率が5%以下になると、画面に「（黄色）」と「ランプを交換してください。」が表示されます。残り時間が0%になると、「（赤色）」が表示され、自動的にランプ（光源）が消灯し、電源が待機状態になります。このとき、ランプ表示が赤色点灯します。
■ **ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。**

本体のランプ表示について

電源表示	赤色点灯	正常（待機状態）
	緑色点灯	正常（電源入）
	赤色点滅	異常（**65** ページ）
	緑色点滅	正常（冷却中）
	緑色 / 橙色の交互点滅	レンズシャッターが閉じている。（**29** ページ）
ランプ表示	緑色点灯	正常
	緑色点滅	ランプ（光源）起動中
	赤色点灯	ランプが正常に起動（点灯）していない、またはランプの交換時期となっている。（**65** ページ）
温度モニター表示	消灯	正常
	赤色点灯 / 点滅	内部温度が上昇している。（**65** ページ）

お知らせ表示			現象	考えられる原因	処置のしかた
	正常	異常			
温度モニター表示	消灯	赤色点滅（点灯）／赤色点灯（待機状態）	内部温度が高温になっている	• 本機の周囲の温度が高温になっている • 吸気孔がふさがれている	• 35℃以下の場所で本機を使用してください。 • 正しい換気ができる場所で本機を使用してください。（**14** ページ）
				• 冷却ファンの故障 • 内部回路の故障 • 吸気孔の目づまり	• 販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**80** ページ）に修理を依頼してください。
ランプ表示	緑色点灯（緑色点滅は光源起動中）	赤色点灯	ランプ（光源）が点灯しない	• ランプ（光源）が異常な状態で消灯した	• 電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。
			ランプ交換時期	• ランプ残率が5% 以下になった	• ランプを交換してください。（**66** ページ） • 販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**80** ページ）に修理を依頼してください。 • ランプを交換するときは、注意して行ってください。 • ランプユニットカバーをしっかりと取り付けてください。
		赤色点灯（待機状態）	ランプ（光源）が点灯しない	• ランプ（光源）が切れた • ランプ（光源）点灯回路の故障	
電源表示	緑／赤色点灯 緑色点滅（冷却中）	赤色点滅	本機の電源を入れると、電源表示が赤色点滅する	• ランプユニットカバーが外れている（確実に取り付けられていない）	• ランプユニットカバーをしっかり取り付けても電源表示が点滅する場合は、販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**80** ページ）に修理を依頼してください。

お知らせ

- 温度モニター表示が点灯し、電源が待機状態になったときは、上記の処置を行って内部温度が十分に下がるまで（10分以上）待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
- 本機を使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。本機の操作中に冷却ファンの音が変化することがありますが、これはファンの回転速度を変えているためで、故障ではありません。

ランプを交換する

ランプについて

■ 光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間（残率）」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプ（別売）と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプと交換してください。ランプ残率（パーセント表示）は、画面表示で確認できます。（**53**ページ）

■ ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内（エコ＋静音モード：ランプ残率約67%/明るさ優先モード：ランプ残率約50%）です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。

■ 別売のランプユニット（形名AN-K15LP）は、お買いあげの販売店でご購入ください。

ランプ使用上のご注意

■ プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。

■ 「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している場合でも、すみやかに新しいランプと交換してください。

■ 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店に内部の点検を依頼してください。

⚠ 警告

・当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。

ランプ交換時のご注意

⚠ 警告

・ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

・ランプユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。

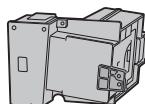
ランプ交換は、次ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。
* なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。

* 新しいランプユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

ランプ交換のしかた

• 本機が動作中、ランプユニットは大変高温になります。ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプおよびその周辺が高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

お知らせ

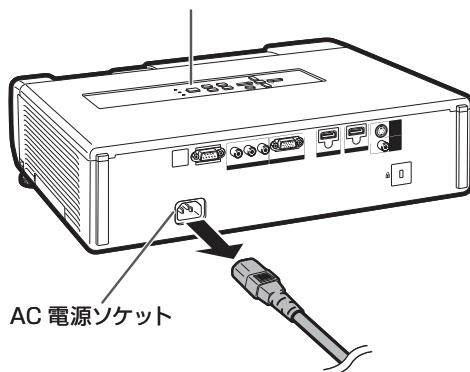
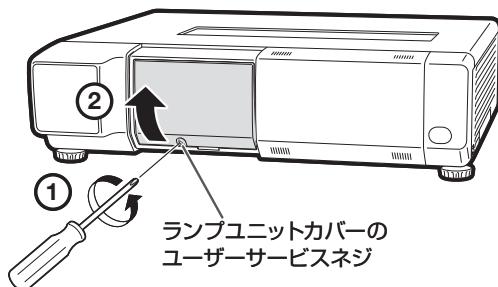
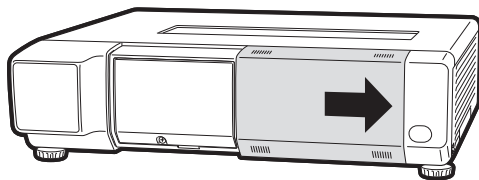
• ランプユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
• けがやランプの破損を防ぐため、必ず以下の手順にそって作業を行ってください。
• ランプユニットカバーとランプユニット以外のネジは絶対に外さないでください。

1 本体のSTANDBY/ONまたはリモコンのSTANDBYを押し、プロジェクターを待機状態にする

2 電源コードをプロジェクターから取り外す

• 電源コードをAC電源ソケットから外します。
• ランプユニットが十分冷えるまで（約1時間）放置します。

3 ランプユニットカバーを取り外す

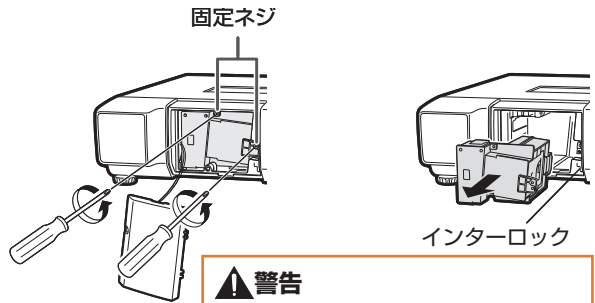
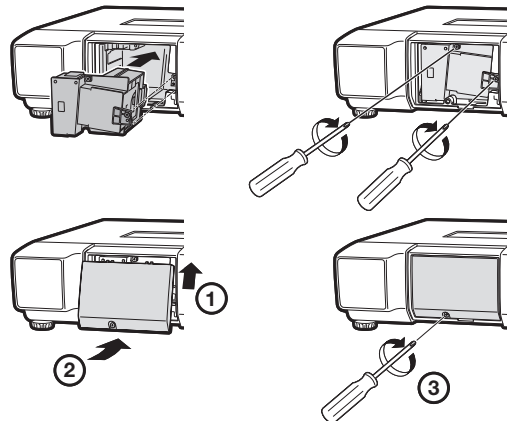
• レンズシャッターを閉じます。ランプユニットカバーを固定しているユーザーサービスネジ（①）をゆるめます。その後、ランプユニットカバー（②）を外します。

つづく

ランプを交換する（つづき）

4 **ランプユニットを取り外す**
- 固定ネジをゆるめます。ランプユニットを矢印の方向に引き出します。このとき、ランプユニットを水平に保ち、傾けないようにしてください。

5 **新しいランプユニットを挿入する**
- ランプユニットをしっかりとランプユニット収納部に押し込みます。固定ネジを締めます。

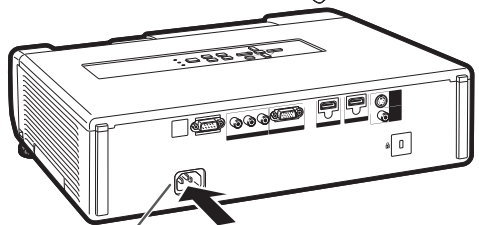
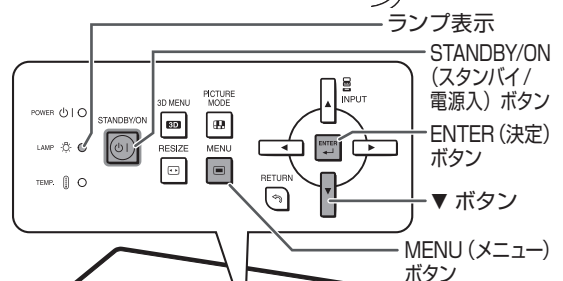
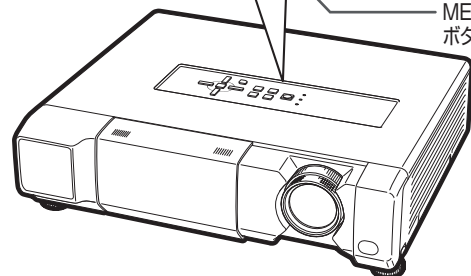
6 **ランプユニットカバーを取り付ける**
- ランプユニットカバーのタブをはめ込み（①）、矢印の方向に押して閉めます（②）。次に、ユーザーサービスネジ（③）を締めて、ランプユニットカバーを固定します。

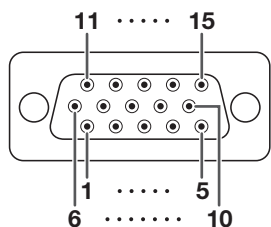
お知らせ
- 電源コードが接続されていてもランプユニットとランプユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間をリセットしてください。

お知らせ
- ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外は行わないでください。ランプ使用時間をリセットして規定以上ランプを使用すると、破裂や故障の原因になることがあります。

1 **電源コードを本機に接続し、レンズシャッターを完全に開く**
- 電源コードをプロジェクターのAC電源ソケットに接続します。

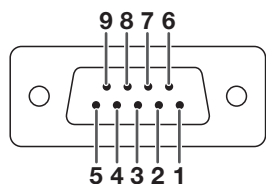
2 **ランプ使用時間をリセットする**
- 本体の**MENU**、**ENTER**、**▼**を3つ同時に押しながら、**STANDBY/ON**を押します。ランプ表示が緑色点滅を開始するまで押し続けてください。
- ランプ使用時間がリセットされ、「LAMP 0000H」が表示されます。

本体のコネクタのピン配列

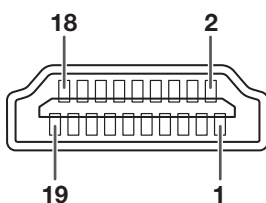
COMPUTER/COMPONENT入力端子：ミニD-sub15ピンコネクタ（メス）

COMPUTER入力

ピン番号	信号名
1	映像入力（赤）
2	映像入力（緑/シンクオングリーン）
3	映像入力（青）
4	NC
5	NC
6	接地（赤）
7	接地（緑/シンクオングリーン）
8	接地（青）
9	NC
10	接地
11	NC
12	データ
13	水平同期信号
14	垂直同期信号
15	クロック

コンポーネント（色差）入力

ピン番号	信号名
1	PR（CR）
2	Y
3	PB（CB）
4	NC
5	NC
6	接地（PR）
7	接地（Y）
8	接地（PB）
9	NC
10	NC
11	NC
12	NC
13	NC
14	NC
15	NC

RS-232C端子：9ピンD-subコネクタ（オス）

ピン番号	信号	信号名	入/出	参考
1				NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4		予備		内部回路に接続
5	SG	信号接地		内部回路に接続
6		予備		内部回路に接続
7		予備		内部回路に接続
8		予備		内部回路に接続
9				NC

HDMI端子

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	T.M.D.Sデータ2+	8	T.M.D.Sデータ0シールド	14	ユーティリティー
2	T.M.D.Sデータ2シールド	9	T.M.D.Sデータ0–	15	SCL
3	T.M.D.Sデータ2–	10	T.M.D.Sクロック+	16	SDA
4	T.M.D.Sデータ1+	11	T.M.D.Sクロックシールド	17	DDC/CEC接地
5	T.M.D.Sデータ1シールド	12	T.M.D.Sクロック–	18	+5V電源
6	T.M.D.Sデータ1–	13	CEC	19	ホットプラグ検出
7	T.M.D.Sデータ0+				

RS-232C 仕様とコマンドの設定

コンピュータの制御

コンピュータを RS-232C ケーブル（クロスタイプ、市販品）でプロジェクターに接続すると、コンピュータでプロジェクターを操作できます。（接続については **28** ページをご覧ください。）

通信条件

コンピュータのシリアルポートを、次のように設定します。

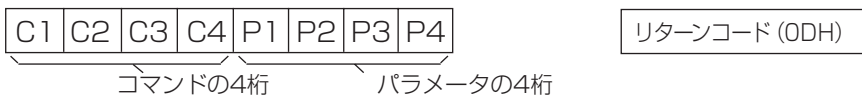
信号形式	：RS-232C 規格に準拠。	パリティビット	：なし
ボーレート＊	：9,600 bps/38,400bps/115,200bps	ストップビット	：1 ビット
データ長	：8 ビット	フロー制御	：なし

＊ ボーレートはプロジェクターとコンピュータとで設定を合わせてください。

基本形式

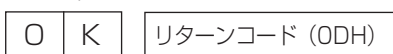
コンピュータからのコマンドは、コマンド、パラメータ、リターンコードの順に送ってください。プロジェクターがコンピュータからのコマンドを処理すると、コンピュータにレスポンスコードを送ります。

コマンド形式

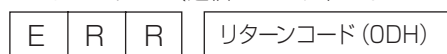
リターンコード（0DH）

レスポンスコード形式

通常のレスポンス

O	K

リターンコード（0DH）

問題のあるレスポンス（通信エラーや不正なコマンド）

E	R	R

リターンコード（0DH）

お知らせ

- コンピュータから RS-232C コマンドを使ってプロジェクターを制御している場合は、電源を入れた後、30 秒以上待ってからコマンドを送信してください。
- 入力選択または画像調整のコマンドを送信し、OK のレスポンスコードを受信した後、プロジェクターはコマンドの処理に少し時間がかかる場合があります。プロジェクターが最初のコマンドを処理している最中に 2 番目のコマンドが送信されると、ERR（エラー）のレスポンスコードが返されることがあります。この場合は、2 番目のコマンドを再送信してください。
- 複数のコードを送信する場合には、プロジェクターからの前のコマンドのレスポンスコードが確認されたあとで、つぎのコマンドを送信してください。
- 「POWR????」「TABN _ _ _ 1」「TLPS _ _ _ 1」「TPOW _ _ _ 1」「TLPN _ _ _ 1」「TLTT _ _ _ 1」「TLTM _ _ _ 1」「TLTL _ _ _ 1」「TNAM _ _ _ 1」「MNRD _ _ _ 1」「PJN0 _ _ _ 1」
  - これらの特殊コマンドをプロジェクターが受信した際は：
    - 画面表示は消えません。
    - 「無信号時自動電源オフ機能」のタイマーはリセットされません。
  - これらの特殊コマンドは連続ポーリングを要するアプリケーションに使用できます。

コマンド

例：プロジェクターの電源を入れる場合

コンピュータ

P	O	W	R	_	_	_	1	⏎

プロジェクター

O	K	⏎

制御する内容			コマンド				パラメータ				リターン	
											電源オン状態	待機状態（または電源オンから 30 秒以内）
電源	入		P	O	W	R	_	_	_	1	OK または ERR	OK
	切		P	O	W	R	_	_	_	0	OK	OK または ERR
	状態		T	L	P	S	?	?	?	?	1	0
プロジェクターの状態確認			T	A	B	N	_	_	_	1	0：正常 1：高温 8：ランプ残存率 5% 以下 16：ランプ切れ 32：ランプ不点灯	0：正常 1：高温 2：冷却ファンのエラー 4：ランプカバーのオープン 8：ランプ残存率 5% 以下 16：ランプ切れ 32：ランプ不点灯 64：異常高温
ランプ	状態確認		T	L	P	S	_	_	_	1	0：切、1：入、2：再試行 3：待機中、4：ランプのエラー	0：OFF、4：ランプのエラー
	電源の状態確認		T	P	O	W	_	_	_	1	1：入、2：冷却中	0：待機
	数量		T	L	P	N	_	_	_	1	1	
	使用時間（単位：時間）		T	L	T	T	_	_	_	1	0 ～ 9999（整数）	
	使用時間（単位：分）		T	L	T	M	_	_	_	1	0、15、30、45	
	残率（%）		T	L	T	L	_	_	_	1	0% ～ 100%（整数）	
名称	機種名の確認		T	N	A	M	_	_	_	1	XVZ17000	
	機種名の確認		M	N	R	D	_	_	_	1	XV-Z17000	
	プロジェクター名の設定 1（最初の 4 文字）[*1]		P	J	N	1	*	*	*	*	OK または ERR	
	プロジェクター名の設定 2（途中の 4 文字）[*1]		P	J	N	2	*	*	*	*	OK または ERR	
	プロジェクター名の設定 3（最後の 4 文字）[*1]		P	J	N	3	*	*	*	*	OK または ERR	
	プロジェクター名の確認		P	J	N	0	_	_	_	1	プロジェクター名	
入力の切換	COMPUTER		I	R	G	B	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
	COMPONENT		I	R	G	B	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
	HDMI1		I	R	G	B	_	_	_	3	OK または ERR	ERR
	HDMI2		I	R	G	B	_	_	_	4	OK または ERR	ERR
	S-VIDEO		I	V	E	D	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
	VIDEO		I	V	E	D	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
	入力 RGB の確認		I	R	G	B	?	?	?	?	1：COMPUTER、2：COMPONENT、 3：HDMI1、4：HDMI2、ERR	ERR
	入力ビデオの確認		I	V	E	D	?	?	?	?	1：S-VIDEO、2：VIDEO、ERR	ERR
	入力モードの確認		I	M	O	D	?	?	?	?	1: RGB、2: VIDEO	ERR
	入力の確認		I	C	H	K	?	?	?	?	1: COMPUTER 2: COMPONENT 3: HDMI1 4: HDMI2 5: S-VIDEO 6: VIDEO	ERR
画面サイズ	COMPUTER	標準	R	A	S	R	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		16:9	R	A	S	R	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
		リアル	R	A	S	R	_	_	_	3	OK または ERR	ERR
		ズーム	R	A	S	R	_	_	_	5	OK または ERR	ERR
		ズーム 14:9	R	A	S	R	_	_	_	7	OK または ERR	ERR
		スマートズーム	R	A	S	R	_	_	_	6	OK または ERR	ERR
	COMPONENT	標準	R	B	S	R	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		16:9	R	B	S	R	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
		リアル	R	B	S	R	_	_	_	3	OK または ERR	ERR
		ズーム	R	B	S	R	_	_	_	5	OK または ERR	ERR
		ズーム 14:9	R	B	S	R	_	_	_	7	OK または ERR	ERR
		スマートズーム	R	B	S	R	_	_	_	6	OK または ERR	ERR
	HDMI1	標準	R	C	S	R	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		16:9	R	C	S	R	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
		リアル	R	C	S	R	_	_	_	3	OK または ERR	ERR
		ズーム	R	C	S	R	_	_	_	5	OK または ERR	ERR
		ズーム 14:9	R	C	S	R	_	_	_	7	OK または ERR	ERR
		スマートズーム	R	C	S	R	_	_	_	6	OK または ERR	ERR
	HDMI2	標準	R	D	S	R	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		16:9	R	D	S	R	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
		リアル	R	D	S	R	_	_	_	3	OK または ERR	ERR
		ズーム	R	D	S	R	_	_	_	5	OK または ERR	ERR
		ズーム 14:9	R	D	S	R	_	_	_	7	OK または ERR	ERR
		スマートズーム	R	D	S	R	_	_	_	6	OK または ERR	ERR
	S-VIDEO	標準	R	A	S	V	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		16:9	R	A	S	V	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
		ズーム	R	A	S	V	_	_	_	5	OK または ERR	ERR
		ズーム 14:9	R	A	S	V	_	_	_	7	OK または ERR	ERR
		スマートズーム	R	A	S	V	_	_	_	6	OK または ERR	ERR
	VIDEO	標準	R	B	S	V	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		16:9	R	B	S	V	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
		ズーム	R	B	S	V	_	_	_	5	OK または ERR	ERR
		ズーム 14:9	R	B	S	V	_	_	_	7	OK または ERR	ERR
		スマートズーム	R	B	S	V	_	_	_	6	OK または ERR	ERR

つづく

RS-232C 仕様とコマンドの設定（つづき）

制御する内容			コマンド				パラメータ				リターン	
											電源オン状態	待機状態 （または電源オンから 30 秒以内）
設定値初期化			A	L	R	E	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
COMPUTER 入力	映像モード	標準	R	A	P	S	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		ナチュラル	R	A	P	S	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
		ダイナミック	R	A	P	S	_	_	_	3	OK または ERR	ERR
		シネマ 1	R	A	P	S	_	_	_	4	OK または ERR	ERR
		シネマ 2	R	A	P	S	_	_	_	5	OK または ERR	ERR
		ゲーム	R	A	P	S	_	_	_	6	OK または ERR	ERR
	コントラスト	-30 - +30	R	A	P	I	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	明るさ	-30 - +30	R	A	B	R	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色の濃さ	-30 - +30	R	A	C	O	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色あい	-30 - +30	R	A	T	I	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	シャープネス	-30 - +30	R	A	S	H	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	赤	-30 - +30	R	A	R	D	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	青	-30 - +30	R	A	B	E	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色温度	-2 - +2	R	A	C	T	_	_	*	*	OK または ERR	ERR
	映像調整リセット		R	A	R	E	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
COMPONENT 入力	映像モード	標準	R	B	P	S	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		ナチュラル	R	B	P	S	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
		ダイナミック	R	B	P	S	_	_	_	3	OK または ERR	ERR
		シネマ 1	R	B	P	S	_	_	_	4	OK または ERR	ERR
		シネマ 2	R	B	P	S	_	_	_	5	OK または ERR	ERR
		ゲーム	R	B	P	S	_	_	_	6	OK または ERR	ERR
	コントラスト	-30 - +30	R	B	P	I	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	明るさ	-30 - +30	R	B	B	R	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色の濃さ	-30 - +30	R	B	C	O	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色あい	-30 - +30	R	B	T	I	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	シャープネス	-30 - +30	R	B	S	H	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	赤	-30 - +30	R	B	R	D	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	青	-30 - +30	R	B	B	E	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色温度	-2 - +2	R	B	C	T	_	_	*	*	OK または ERR	ERR
	映像調整リセット		R	B	R	E	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
HDMI1	映像モード	標準	R	C	P	S	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		ナチュラル	R	C	P	S	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
		ダイナミック	R	C	P	S	_	_	_	3	OK または ERR	ERR
		シネマ 1	R	C	P	S	_	_	_	4	OK または ERR	ERR
		シネマ 2	R	C	P	S	_	_	_	5	OK または ERR	ERR
		ゲーム	R	C	P	S	_	_	_	6	OK または ERR	ERR
	コントラスト	-30 - +30	R	C	P	I	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	明るさ	-30 - +30	R	C	B	R	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色の濃さ	-30 - +30	R	C	C	O	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色あい	-30 - +30	R	C	T	I	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	シャープネス	-30 - +30	R	C	S	H	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	赤	-30 - +30	R	C	R	D	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	青	-30 - +30	R	C	B	E	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色温度	-2 - +2	R	C	C	T	_	_	*	*	OK または ERR	ERR
	映像調整リセット		R	C	R	E	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
HDMI2	映像モード	標準	R	D	P	S	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		ナチュラル	R	D	P	S	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
		ダイナミック	R	D	P	S	_	_	_	3	OK または ERR	ERR
		シネマ 1	R	D	P	S	_	_	_	4	OK または ERR	ERR
		シネマ 2	R	D	P	S	_	_	_	5	OK または ERR	ERR
		ゲーム	R	D	P	S	_	_	_	6	OK または ERR	ERR
	コントラスト	-30 - +30	R	D	P	I	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	明るさ	-30 - +30	R	D	B	R	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色の濃さ	-30 - +30	R	D	C	O	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色あい	-30 - +30	R	D	T	I	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	シャープネス	-30 - +30	R	D	S	H	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	赤	-30 - +30	R	D	R	D	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	青	-30 - +30	R	D	B	E	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色温度	-2 - +2	R	D	C	T	_	_	*	*	OK または ERR	ERR
	映像調整リセット		R	D	R	E	_	_	_	1	OK または ERR	ERR

制御する内容			コマンド				パラメータ				リターン	
											電源オン状態	待機状態（または電源オンから 30 秒以内）
S-VIDEO 入力	映像モード	標準	V	A	P	S	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		ナチュラル	V	A	P	S	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
		ダイナミック	V	A	P	S	_	_	_	3	OK または ERR	ERR
		シネマ 1	V	A	P	S	_	_	_	4	OK または ERR	ERR
		シネマ 2	V	A	P	S	_	_	_	5	OK または ERR	ERR
		ゲーム	V	A	P	S	_	_	_	6	OK または ERR	ERR
	コントラスト	-30 - +30	V	A	P	I	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	明るさ	-30 - +30	V	A	B	R	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色の濃さ	-30 - +30	V	A	C	O	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色あい	-30 - +30	V	A	T	I	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	シャープネス	-30 - +30	V	A	S	H	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	赤	-30 - +30	V	A	R	D	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	青	-30 - +30	V	A	B	E	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色温度	-2 - +2	V	A	C	T	_	_	*	*	OK または ERR	ERR
	映像調整リセット		V	A	R	E	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
VIDEO 入力	映像モード	標準	V	B	P	S	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		ナチュラル	V	B	P	S	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
		ダイナミック	V	B	P	S	_	_	_	3	OK または ERR	ERR
		シネマ 1	V	B	P	S	_	_	_	4	OK または ERR	ERR
		シネマ 2	V	B	P	S	_	_	_	5	OK または ERR	ERR
		ゲーム	V	B	P	S	_	_	_	6	OK または ERR	ERR
	コントラスト	-30 - +30	V	B	P	I	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	明るさ	-30 - +30	V	B	B	R	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色の濃さ	-30 - +30	V	B	C	O	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色あい	-30 - +30	V	B	T	I	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	シャープネス	-30 - +30	V	B	S	H	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	赤	-30 - +30	V	B	R	D	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	青	-30 - +30	V	B	B	E	_	*	*	*	OK または ERR	ERR
	色温度	-2 - +2	V	B	C	T	_	_	*	*	OK または ERR	ERR
	映像調整リセット		V	B	R	E	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
RGB 周波数の確認	水平		T	F	R	Q	_	_	_	1	kHz（***.* または ERR）	ERR
	垂直		T	F	R	Q	_	_	_	2	Hz（***.* または ERR）	ERR
3D	入		3	D	E	N	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
	切		3	D	E	N	_	_	_	0	OK または ERR	ERR
	3D 映像表示方式	自動	3	D	F	M	_	_	_	0	OK または ERR	ERR
		サイドバイサイド	3	D	F	M	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
		トップアンドボトム	3	D	F	M	_	_	_	2	OK または ERR	ERR
	同期タイミング反転		3	D	I	V	_	_	_	1	OK または ERR	ERR
ランプ使用時間のリセット *2			L	P	R	E	0	0	0	1	ERR	OK、ERR

メモ

- パラメータの列でアンダーバー（_）のところには、スペースを入力します。アスタリスク（*）のところには、「制御する内容」のカッコ内に示された範囲の値を入力します。

*1 プロジェクター名の設定 1 ～ 3 では、必ず PJN1、PJN2、PJN3 の順にコマンドを送信してください。
*2 ランプ使用時間のリセットコマンドは、待機状態時のみ送信可能です。

付録

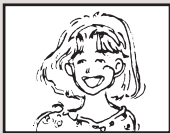
入力信号（推奨信号）一覧表

コンピュータ

- 幅広い信号に対応
  水平周波数：15kHz ～ 110kHz
  垂直周波数：43Hz ～ 85Hz
  ドットクロック：12MHz ～ 170MHz
- シンクオングリーン信号とコンポジットシンク信号（TTL レベル）に対応

PC/MAC	モード	解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	アナログサポート	デジタルサポート	ディスプレイ
PC	VGA	640 × 400	27.0	60	✔		アップスケール
			31.5	70	✔		
			37.9	85	✔		
		720 × 400	27.0	60	✔		
			31.5	70	✔	✔	
			37.9	85	✔		
		640 × 480	26.2	50	✔		
			31.5	60	✔	✔	
			34.7	70	✔		
			37.9	72	✔	✔	
			37.5	75	✔	✔	
			43.3	85	✔		
	SVGA	800 × 600	31.3	50	✔		
			35.2	56	✔	✔	
			37.9	60	✔	✔	
			46.6	70	✔		
			48.1	72	✔	✔	
			46.9	75	✔	✔	
			53.7	85	✔		
	XGA	1024 × 768	40.3	50	✔		
			48.4	60	✔	✔	
			56.5	70	✔	✔	
			60.0	75	✔	✔	
			68.7	85	✔		
	WXGA	1280 × 720	45.0	60	✔	✔	
		1280 × 768	47.8	60	✔		
		1280 × 800	49.7	60	✔		
		1360 × 768	47.7	60	✔		
		1366 × 768	47.8	60	✔		
	WXGA+	1440 × 900	55.9	60	✔		
	SXGA	1152 × 864	55.0	60	✔	✔	
			66.2	70	✔		
			67.5	75	✔	✔	
		1280 × 960	60.0	60	✔	✔	
		1280 × 1024	64.0	60	✔	✔	
	SXGA+	1400 × 1050	64.0	60	✔	✔	
			65.3	60	✔	✔	
	WSXGA+	1600 × 900	55.9	60	✔	✔	
		1680 × 1050	65.3	60	✔		
		1920 × 1080*1	66.8	60	✔		ダウンサンプリング
		1920 × 1080*2	67.5	60	✔	✔	インテリジェント圧縮
MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67	✔		アップスケール
MAC 16"	SVGA	832 × 624	49.7	75	✔		
MAC 19"	XGA	1024 × 768	60.2	75	✔		
MAC 21"	SXGA	1152 × 870	68.7	75	✔		

*1 本機は 1920 × 1080 アナログ信号を入力した場合、圧縮処理されてスクリーンに表示します。
*2「解像度」が「1920 × 1080」に設定されたときは、フルイメージ表示になります。

- ノート型コンピュータによっては、同時（CRT/LCD）モードで映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型コンピュータの画面表示をオフにし、表示データを「CRT のみ」モードで出力するようにしてください。表示モードの切り換えかたについての詳しくは、お使いのノート型コンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- コンピュータの「画面解像度」とプロジェクターで表示される入力解像度が違っているときは：
  – プロジェクターの「信号調整」メニューの「解像度」でコンピュータの「画面解像度」と同じ解像度を選んでください。
  – お使いのコンピュータの仕様によっては「画面解像度」と同じ信号が出力されない場合があります。その場合は、コンピュータの出力設定をご確認ください。出力設定が変更できない場合は、「1920 × 1080」または「1280 × 720」に設定することをおすすめします。

DTV

信号	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	アナログサポート	デジタルサポート	信号	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	アナログサポート	デジタルサポート
480I	15.7	60	✔		1080I	28.1	50	✔	✔
480P	31.5	60	✔	✔	1080I	33.8	60	✔	✔
540P	33.8	60	✔		1080P	27.0	24		✔
576I	15.6	50	✔		1080P	28.1	25		✔
576P	31.3	50	✔	✔	1080P	33.8	30		✔
720P	37.5	50	✔	✔	1080P	56.3	50	✔	✔
720P	45.0	60	✔	✔	1080P	67.5	60	✔	✔

3D

形式	信号	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	アナログサポート	デジタルサポート
フレームパッキング	720P	75.0	50		✔
	720P	90.0	60		✔
	1080P	54.0	24		✔
サイドバイサイド	720P	37.5	50		✔
	720P	45.0	60		✔
	1080I	28.1	50		✔
	1080I	33.8	60		✔
	1080P	56.3	50		✔
	1080P	67.5	60		✔
トップアンドボトム	720P	37.5	50		✔
	720P	45.0	60		✔
	1080P	27.0	24		✔
	1080P	56.3	50		✔
	1080P	67.5	60		✔

故障かな？と思ったら

<table>
<tr><th>こんなとき</th><th>ここをお調べください</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="11">映像が出ない、または
プロジェクターが起動しない</td><td>• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。</td><td>29</td></tr>
<tr><td>• 接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。</td><td>–</td></tr>
<tr><td>• レンズシャッターが閉じていませんか。</td><td>29、34</td></tr>
<tr><td>• 表示させる画面の選択（入力）が間違っていませんか。</td><td>33、47、48</td></tr>
<tr><td>• プロジェクター背面の配線は、正しく接続されていますか。</td><td>25 ～ 29</td></tr>
<tr><td>• リモコンの乾電池が消耗していませんか。</td><td>19</td></tr>
<tr><td>• ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。</td><td>–</td></tr>
<tr><td>• ランプユニットのカバーは正しく取り付けられていますか。</td><td>67、68</td></tr>
<tr><td>• 入力信号タイプが正しく設定されていますか。</td><td>47</td></tr>
<tr><td>• ビデオ機器の映像信号方式は正しく設定されていますか。</td><td>48</td></tr>
<tr><td>• 映像調整の「明るさ」が「－（マイナス）」側いっぱいになっていませんか。</td><td>43</td></tr>
<tr><td rowspan="2">色がうすい、色あいが悪い</td><td>• 映像調整は、正しく設定されていますか。</td><td>43</td></tr>
<tr><td>[S-VIDEO 入力、VIDEO 入力のとき]
• ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。
[COMPONENT 入力、COMPUTER/COMPONENT 入力、HDMI1、HDMI2 入力のとき]
• 入力信号タイプは正しく設定されていますか。</td><td>48

47</td></tr>
<tr><td rowspan="5">映像がぼやける、
ノイズが発生する</td><td>• レンズのフォーカスは合っていますか。</td><td>30</td></tr>
<tr><td>• 投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。</td><td>24</td></tr>
<tr><td>[COMPUTER 入力のとき]
•「信号調整」（クロック調整）を行ってください。
•「信号調整」（水平位相調整）を行ってください。
• コンピュータによってはノイズが発生することがあります。</td><td>47
47
–</td></tr>
<tr><td>• デジタルノイズリダクション（DNR）またはモスキートノイズリダクション（MNR）の設定は適切ですか。</td><td>46</td></tr>
<tr><td>• レンズが結露していませんか。寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる 1 時間くらい前に、使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源コードをコンセントから抜いてしばらくそのまま放置してください。</td><td>–</td></tr>
<tr><td>キャビネットから時々
「ピシッ」と音がする</td><td>• 画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。</td><td>–</td></tr>
<tr><td>本体のお知らせ表示が
点灯する</td><td>•「お知らせ表示について」をご覧ください。</td><td>64</td></tr>
<tr><td>COMPONENT または
COMPUTER/
COMPONENT 端子に
接続して、YPbPr 信号を
入力したとき画面が
緑がかる</td><td rowspan="2">• 入力信号タイプは正しく設定されていますか。</td><td rowspan="2">47</td></tr>
<tr><td>COMPONENT または
COMPUTER/
COMPONENT 端子に
接続して、RGB 信号を
入力したとき画面が
ピンクがかる</td></tr>
<tr><td>HDMI1 または 2 に接続
しているとき、映像の黒部が
つぶれたり、黒部が
浮き上がったりする</td><td>• ダイナミックレンジ設定で映像が最良になるように設定してください。</td><td>48</td></tr>
<tr><td>映像が明るすぎて
白っぽくなる</td><td>• 映像調整は、正しく設定されていますか。</td><td>43</td></tr>
</table>

こんなとき	ここをお調べください	ページ
冷却ファンの音が大きくなる	• 内部温度が上昇し、冷却するためファンの回転が速くなるためです。	–
電源を入れても ランプが点灯しない 使用中に突然 ランプが消灯した	• ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯していませんか。 赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。 • レンズシャッターは完全に開いていますか。	29、64、 67
映像が時々 ちらつくことがある	• 接続状態や接続機器に問題はありませんか。 • 頻繁に起こるときは、ランプが故障している場合があります。ランプを交換してください。	25 ～ 28 67
電源を入れるとき、ランプが 点灯するまで時間がかかる 映像が暗い	• ランプは消耗品です。 寿命が近づくと点灯しにくくなることや映像が暗くなることがあります。 ランプを交換してください。	67
ワンタッチプレイ機能が 働かない	• シャープ製以外のビデオ機器を接続していませんか。 本機をシャープ製以外のビデオ機器に接続した場合、ワンタッチプレイ機能は働きません。	52
	• 本機とシャープ製ビデオ機器を HDMI ケーブルで接続していますか。 HDMI ケーブル以外で接続した場合、ワンタッチプレイ機能は働きません。	26
	• 本機のワンタッチプレイ機能が「切」になっていませんか。	52
	• 本機と接続したシャープ製のビデオ機器または他社製の CEC 機器で、CEC 設定は適切な状態になっていますか。	–
	• 省電力モードを「入」にしていませんか。（この場合ワンタッチプレイ機能は「切」になります。）	52
システムスタンバイ機能が 働かない	• シャープ製以外のビデオ機器を接続していませんか。 本機をシャープ製以外のビデオ機器に接続した場合、システムスタンバイ機能は働きません。	52
	• 本機とシャープ製ビデオ機器を HDMI ケーブルで接続していますか。 HDMI ケーブル以外で接続した場合、システムスタンバイ機能は働きません。	26
	• 本機のシステムスタンバイ機能が「切」に設定されていませんか。	52
	• 本機と接続したシャープ製のビデオ機器または他社製の CEC 機器で、CEC 設定は適切な状態になっていますか。	–
電源待機時にコンピュータ から RS-232C コマンドを 使ってプロジェクターを 制御しようとすると、 レスポンスコードが 受信されない	• 電源待機時に RS-232C コマンドを送信した場合は、コンピュータがレスポンスコードを受信するのに最大 30 秒かかります。コンピュータのレスポンスコードの待ち時間を 30 秒以上に設定してください。	70
リモコンで操作できない	• リモコンの発信部を本機のリモコン受信部に向けて操作していますか。 • プロジェクターから離れすぎていませんか。 • リモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 強い光などがリモコン受信部にあたる場所を避けて設置してください。	19 19 19
	• リモコンの乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか。新しい乾電池を正しい向きでセットしてください。	19

つづく

故障かな？と思ったら（つづき）

こんなとき	ここをお調べください	ページ
3D 映像が表示されない	• 3D モードに切り換えてください。	58、59、60
	•「3D 自動切換」が「しない」になっていませんか。**3D ON/OFF** を押し、3D モードに切り換えてください。	60
	•「3D 自動切換」が「する」に設定されているのに 3D 映像が表示されない場合は、投映するコンテンツの表示形式を確認してください。一部の 3D 映像信号では、自動的に 3D 映像と認識されないことがあります。**3D MENU** を押し、3D 映像に適した表示形式を選択してください。	60、61
	• 3D メガネの電源が切れていませんか。	57
	• 3D メガネの設定が 2D モードになっていませんか。	57
	• 3D メガネは、スクリーンに反射した赤外線信号を受信することによって動作します。3D メガネの赤外線受信部とスクリーンとの間に障害物を置かないようにしてください。	–
3D 映像を部屋の中で見るときにチラつく	• 視界の中に蛍光灯や周辺光が入ると、映像がちらつくことがあります。 - 蛍光灯などを消してください。 - 周辺の光源をさえぎってください。	–
3D 映像にゴースト（二重像）が現れる	•「同期タイミング反転」で、設定を変えてください。	60
	• 3D 映像に対応しない信号を受信していませんか。信号を確認してください。	75
	• 本機をコンピュータに接続して 3D 映像の再生を行う場合は、3D 映像用アプリケーションソフトウェアが使用されているかを確認してください。 - 3D 映像用アプリケーションソフトウェアを使用してください。 - 3D 映像用アプリケーションソフトウェアの 3D 映像表示方式、解像度、リフレッシュレートを正しく設定してください。	–
	• 周辺の光源が強い場合は遮光してください。強い光があると、3D メガネとスクリーン間の通信が妨げられ、ちらつきが発生します。	–
	• 複数のプロジェクターから同時に投映すると、3D 映像にならない場合があります。プロジェクターは 1 台単独で使用するようにしてください。	–
映像が暗い	• 3D 映像を投映したとき、映像は通常より暗くなることがあります。	–
3D メガネが自動的にオフにならない	• 3D メガネとスクリーンとの間に障害物がありませんか。また 3D メガネの赤外線受信部が何かでさえぎられていませんか。3D メガネは、信号が受信されない場合、3 分後に自動的にオフになります。3D メガネの赤外線受信部とスクリーンとの間に障害物を置かないようにしてください。	–
3D メガネの電源ボタンを押しても、電源ランプが点灯しない	• 3D メガネの電池が消耗しています。電源ボタンを 1 秒以上押しても電源ランプが点灯しない場合、電池が消耗しています。電池を交換してください。	56

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの妨害ノイズや誤った操作により、正常に動作しない場合があります。正常に動作しないときは、一度、電源プラグをコンセントから抜き、約 5 分以上おいてから再びコンセントに差し込んで電源を入れ直してください。

アフターサービスについて

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  - 光源 (ランプ) 以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から 1 年間は無料です。
  - 光源 (ランプ) およびその修理工料は、お買いあげの日から 6 ヵ月は無料です。
(6 ヵ月以内でも使用時間が 1,000 時間を超えているときは、保証の対象となりません。)

使い方や修理のご相談など

- 修理·使い方·お手入れ·お買い物などのご相談·ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、**お買いあげの販売店**、または**シャープお客様ご相談窓口**（**80** ページ）にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「故障かな？と思ったら」（**76** ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　　名：シアタープロジェクター
形　　　名：XV-Z17000
お買いあげ日：(年月日)
故 障 の 状 況：(できるだけ具体的に)
ご　住　所：(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お　名　前：
電 話 番 号：
ご訪問希望日：

便利メモ お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販　売　店　名
年　　月　　日	電話（　　）　―

保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検

長年ご使用のプロジェクターの点検を！
こんな症状はありませんか？

●電源コードやプラグが異常に熱い。●電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。●画面が映ったり、消えたりする。●映像が乱れたり、色がきれいに出ない。●その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。▶▶▶ パソコン シャープ　お問い合わせ 検索

http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法・お買い物相談など

【お客様相談センター】

0120 - 078 - 178
携帯・PHS OK
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間 ●月曜～土曜: 9:00～18:00
●日曜・祝日: 9:00～17:00
（年末年始を除く）

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

東日本相談室	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
電話：043 - 351 - 1821	FAX：043 - 299 - 8280
西日本相談室	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72
電話：06 - 6792 - 1582	FAX：06 - 6792 - 5993

修理のご相談など

※「持込修理」「部品購入」「修理品引き取りサービス」をご希望の方は、枠外の補足をご覧ください。

【修理相談センター】（沖縄・奄美地区を除く）

0120 - 02 - 4649
携帯OK
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間 ●月曜～土曜: 9:00～20:00
●日曜・祝日: 9:00～18:00
（年末年始を除く）

■〈IP電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄・奄美地区の方〉は…

	IP電話	ファックス
東日本地区	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221
沖縄・奄美地区	「那覇サービスセンター」098 - 861 - 0866（月～金 9:00～17:40）	

補足　持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口でも承っております。

地区別窓口

■受付時間　＊月曜～土曜: 9:00～17:40（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜: 9:00～17:40（祝日など弊社休日を除く）

北陸地区
- 金　沢サービスセンター：076 - 249 - 2434　〒921-8801　石川郡野々市町御経塚4-103

近畿地区
- 京　都サービスセンター：075 - 672 - 2378　〒601-8102　京都市南区上鳥羽管田町48
- 大　阪テクニカルセンター：06 - 6794 - 5611　〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
- 阪　神サービスセンター：06 - 6422 - 0455　〒661-0981　兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
- 神　戸サービス センター：078 - 452 - 7009　〒658-0025　神戸市東灘区魚崎南町4-12-6

中国地区
- 広　島サービスセンター：082 - 874 - 8149　〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4

四国地区
- 高　松サービスセンター：087 - 823 - 4901　〒760-0065　高松市朝日町6-2-8

九州地区
- 福　岡サービスセンター：092 - 572 - 4652　〒812-0881 福岡市博多区井相田2-12-1

沖縄・奄美地区
- 那　覇サービスセンター：098 - 861 - 0866　〒900-0002　那覇市曙2-10-1

北海道地区
- 札　幌サービスセンター：011 - 641 - 4685　〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17

東北地区
- 仙　台サービスセンター：022 - 288 - 9142　〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27

関東地区
- 宇都宮サービスセンター：028 - 637 - 1179　〒320-0833　宇都宮市不動前4-2-41
- さいたまサービスセンター：048 - 666 - 7987　〒331-0812　さいたま市北区宮原町2-107-2
- 東東京サービスセンター：03 - 5692 - 7765　〒114-0013　東京都北区東田端2-13-17
- 多　摩サービスセンター：042 - 548 - 1391　〒190-0023　立川市柴崎町6-10-17
- 千　葉サービスセンター：043 - 298 - 5681　〒262-0013　千葉市花見川区犢橋町1629-4
- 横　浜サービスセンター：045 - 753 - 4647　〒235-0036　横浜市磯子区中原1-2-23

東海地区
- 静　岡サービスセンター：054 - 344 - 5781　〒424-0067　静岡市清水鳥坂1170-1
- 名古屋サービスセンター：052 - 332 - 2623　〒454-8721　名古屋市中川区山王3-5-5

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2011.04）

仕様

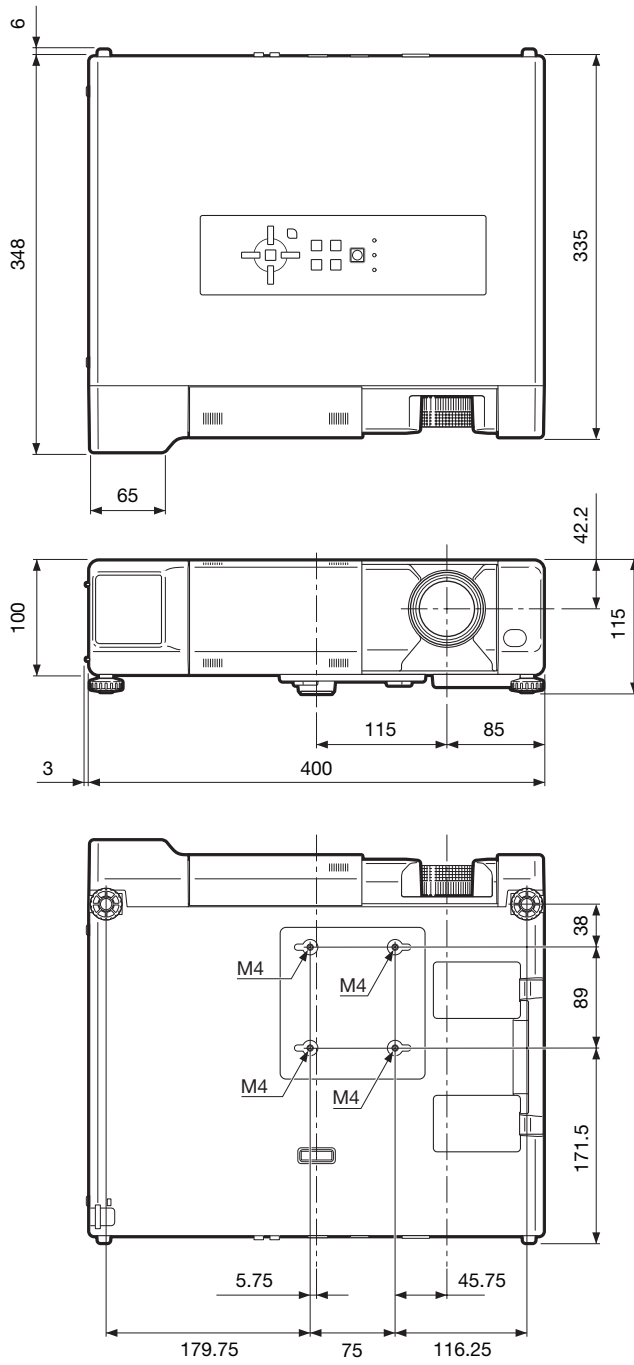
形名		XV-Z17000
表示方式		0.65 型 DLP® チップ×1
解像度		1080P (1,920 × 1,080)
レンズ	F 値	F2.5 ～ 2.7
	ズーム	手動、1.15 倍 (f=21.0 ～ 24.2mm)
	フォーカシング	手動
入力端子	HDMI	2 系統
	コンピュータ／コンポーネント (ミニ D-sub 15ピン)	1 系統
	コンポーネント (RCA)	1 系統
	S 映像 (ミニ DIN 4ピン)	1 系統
	映像 (RCA)	1 系統
制御および通信端子	RS-232C (ミニ D-sub 9ピン)	1 系統
ランプ		250W
定格電圧		AC 100 ～ 240V
定格周波数		50/60Hz
入力電流		3.7A
消費電力 (待機時消費電力)		AC100V 時：353W (7.6W)
使用温度範囲		+5℃～ +35℃
キャビネット		プラスチック
外形寸法 (突起部除く)		幅 400mm、高さ 100mm、奥行き 335mm
質量		約 5.8kg

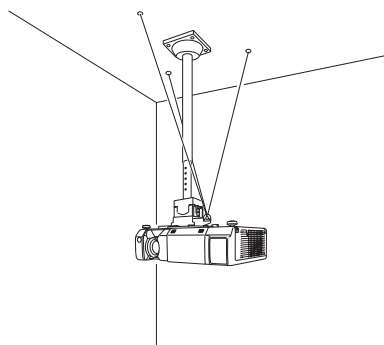
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。本書に示す性能仕様図は、公称値を示しています。個々の機器の値と異なる場合がありますので、ご了承ください。

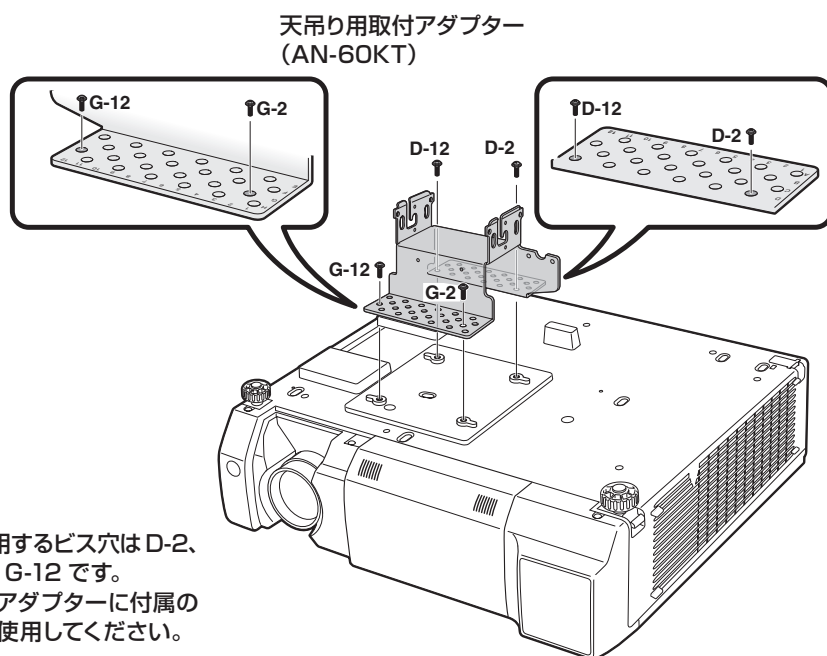
お願い
- **DLP® チップは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がいくらかある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。**
- **ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。**

寸法図

単位：mm

6
348
335
65
42.2
100
115
115
85
3
400
38
89
171.5
M4
M4
M4
M4
5.75
45.75
179.75
75
116.25

天吊り

プロジェクターを天井に設置するときは、24 ページの画面下端からレンズセンターまでの距離に合わせて設置位置を決めてください。

AN-TK201 をご使用の際は、上図のようにワイヤー等でゆれ防止されることをおすすめします。

天吊り用取付アダプター（別売品）の取り付けかた

・取り付けに使用するビス穴は D-2、D-12、G-2、G-12 です。
・天吊り用取付アダプターに付属のビス (M4) を使用してください。

お願い

• 取り付け工事は、販売店または工事店にご依頼ください。取り付け強度不足による落下などにつきましては、当社は一切の責任を負いません。

寸法図（つづき）

単位：mm

	品名	形名
①	高天井用取付ユニット	AN-TK201
②	低天井用取付ユニット	AN-TK202
③	天吊り用取付アダプター	AN-60KT

索引

MY家電登録のご案内

詳しくはホームページで→

http://iclub.sharp.co.jp/m/

SHARP i CLUBは、お客様がご愛用のシャープ製品について、便利な使い方や、製品のサポート・サービス、キャンペーンなど、一人ひとりに合ったサービスをご利用いただける会員様向けサイトです。

ぜひ、ご登録ください。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。▶▶▶

シャープ　お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法・お買い物相談など

【お客様相談センター】

0120 - 078 - 178

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	電　話	ファックス
東日本相談室→	043 - 351 - 1821	043 - 299 - 8280
西日本相談室→	06 - 6792 - 1582	06 - 6792 - 5993

受付時間　●月曜～土曜:**9:00～18:00**　●日曜・祝日:**9:00～17:00**　(年末年始を除く)

修理のご相談など

【修理相談センター】(沖縄・奄美地区を除く)

0120 - 02 - 4649

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■〈IP電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄・奄美地区の方〉は…

	IP電話	ファックス
東日本地区→	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区→	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221
沖縄・奄美地区→	「那覇サービスセンター」098 - 861 - 0866(月～金 9:00～17:40)	

受付時間　●月曜～土曜:**9:00～20:00**　●日曜・祝日:**9:00～18:00**　(年末年始を除く)

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2011.04)

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

Printed in China
TINS-F126WJZZ
11P05-CH-NM